
2017・2016年度生

CONTENTS

全学共通教養教育科目の目的	1
全学共通教養教育科目とは	2
全学共通教養教育科目の「科目群」と「科目」	
同志社科目群	3
キャリア形成支援科目群	3
国際教養科目群	4
人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目	7
先端・複合領域科目	7
保健体育科目	7
グローバル・リベラルアーツ副専攻	8
同志社英語集中プログラム	12
同志社データサイエンス・AI 教育プログラム (DDASH)	13
全学共通教養教育科目の履修について	15
全学共通教養教育科目 登録・受講にあたっての注意	15
全学共通教養教育科目 開講科目	17
開講科目一覧表の見方について	17
全学共通教養教育カリキュラム・ポリシー	35

◆ 重 要 ◆

◆修得した単位の取扱い（卒業必要単位への算入方法など）は、学部によって異なります。また、登録にあたって、個別の条件が付加される場合がありますので、所属学部・学年の『履修要項』を参照し、十分に理解した上で登録してください。

全学共通教養教育科目の目的

同志社大学は、「良心を手腕に運用する人物の育成」すなわち「良心教育」という建学の精神のもとに、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という3つの教育理念を掲げている。さらにこの理念に基づいて5つの教育目標を定め、本学が育成すべき資質を明確にしている。すなわち「高い倫理観と豊かな人間性の育成」、「自治自立の精神と行動力の育成」、「生涯を通じて社会に貢献する精神と行動力の育成」、「国際社会に対応できる語学力と行動力の育成」及び「寛容な精神の育成」である。これらの理念と目標は、人間としての総合力（知・徳・体のバランス）に優れた人物の育成を目指している。そのため全学に共通する基礎的・専門横断的な科目、「全学共通教養教育科目」を開設している。

人はさまざまな形で教養を得ていく。教養が知識や技能を修得し行使する際に形成されていく「ものの見方」や「考え方」あるいは「価値観」の総体だとするならば、専門的な学術体系にはじめて接する大学時代こそ、学生が教養へと向かう第一歩である。またこの知識・技能を支えていく基盤となるのが、心と身体への適切な配慮、深い倫理性と感性、主体的な行動力とバランス感覚であることはいうまでもない。だが社会に目を向ければ、学生は急激な社会構造の変化、グローバル化の進展に直面し、大学においても学問や科学技術の高度な専門化、細分化に向き合っている。現代社会はさらなる資質、能力を求めている。

現代の大学生にまず求められるのは、それぞれの学問分野に特有な発想や方法の基礎を理解し、同時にさまざまな学問分野の発想や方法があることを知る、つまり一方に偏することのない広い視野を確保することである。そのためには、学生が複数の学問系を経験すること、つまりある事象に対して複数のアプローチが可能であることを知る必要がある。自分の専攻分野とは異なる分野を学び、物事を多角的な視点から見る力を養うことによって、新しい価値の創造を試みることができるからである。さらに求められるのは、大学時代に外国語運用を含めたコミュニケーション能力を十分に獲得しておくことである。グローバル化した社会では、異文化理解やその基礎となる外国語運用力はもちろんのこと、日本の伝統、文化、歴史、自然を理解することが必要となる。自らを知り、異なる文化や価値についても理解し、互いに尊重し合える人物こそが、真の意味でのコミュニケーションを行えるからである。またさらには現代社会特有の現象といえる情報過多に向き合い、その真偽を判断する能力も必須の教養となる。

こうした現代的教養を目指して開設された「全学共通教養教育科目」は、本学においては特別な意味をもっている。確かに学生はそれぞれの専門科目の履修によって専門的知見を修得していく。しかしその過程では、おのおのの専門的知見が広く人間社会において持っている意義を確認することも必要となる。そのための有効な手だては、本学の教育理念・教育目標に立ち返りながら、全学共通教養教育科目を学ぶことである。すなわちそれぞれの専門性を、諸学の基礎的な、専門横断的な立場から再認識してみることである。この意味で専門教育科目と全学共通教養教育科目は、互いに排除しあうものではなく、むしろ補完し合う関係にある。

具体的には、学生は全学に共通する教養教育科目を四年間に亘り、系統的に履修することが望ましい。体系的・段階的履修によってこそ、学生は多様な学問分野への関心を抱きながら、主体的学習を進め成長することができる。学生は各人の志向に応じて、専門教育科目と全学共通教養教育科目の両者を総合していく。それによってはじめて、それぞれが良心を手腕に運用しながら、同時に知識・技能をもって社会に貢献する人物へと成長していくのである。

全学共通教養教育科目とは

全学共通教養教育科目とは、すべての学部学生を対象とした共通の教養教育科目のことです。全学共通教養教育科目では、本学の建学の精神である「良心教育」を、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という3つの教育理念に基づき、リベラルアーツ教育の伝統を受け継ぎながら現代において展開しており、幅広い学問分野にわたり、充実した科目を開設しています。

全学共通教養教育科目に関するホームページ <https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/>



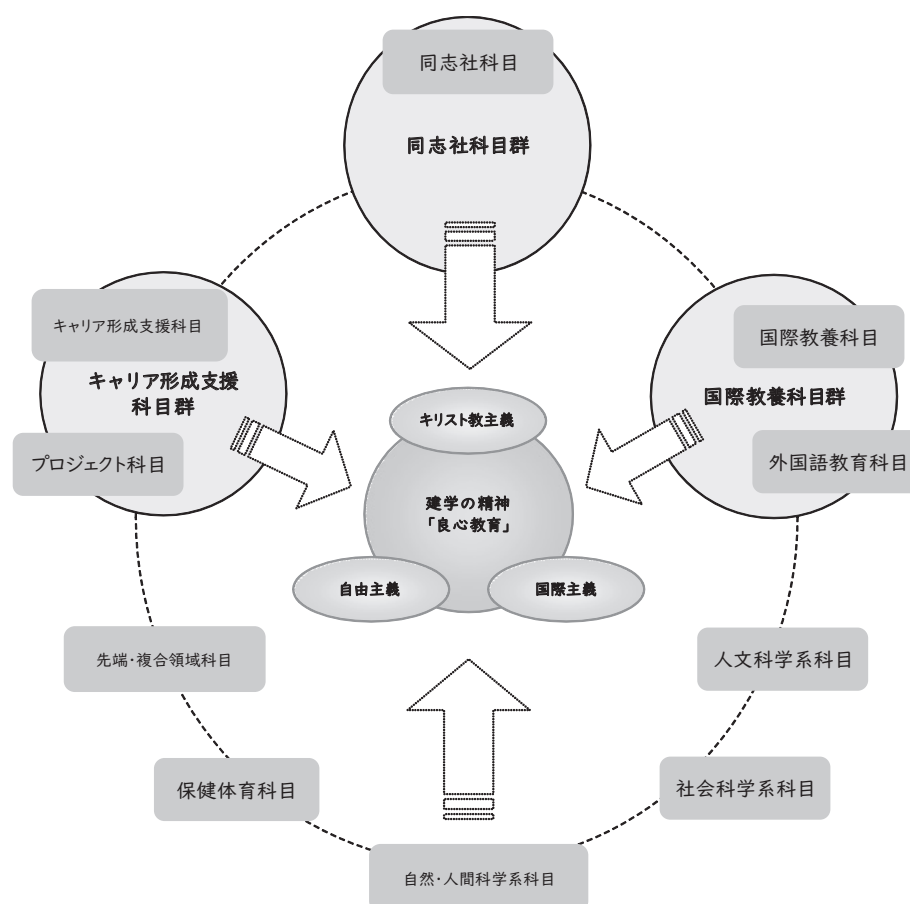
全学共通教養教育科目の科目群と科目

全学共通教養教育科目には「科目群」と「科目」というグループ分けがあります。

「科目群」には「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目群」の3つがあり、それぞれ、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神、新島襄、キリスト教」、「自己形成、キャリア形成」、「異文化理解、外国語」に関連する科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、体系的に履修することができるようにしたものです。

「科目」は、全学共通教養教育科目のすべての科目を特性や分野ごとに「〇〇科目」という名称でグループ分けしたものです。

同志社大学 全学共通教養教育科目イメージ図



同志社科目群

同志社大学で学ぶ皆さんの中には、本学の成り立ちや教育理念のひとつであるキリスト教についてほとんど学ぶことのないまま卒業する方がいるかも知れません。混迷の様相を増している現代社会において、「キリスト教的人間観から醸成される他人への優しさと、安易に人に左右されない信念と独立心を持った自治自立の人物を養成する」という本学の良心教育の精神は、きっと皆さんの将来を豊かにかつ有意義なものに導いてくれるはずです。

「同志社科目群」は、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神」やキリスト教について学ぶ科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、履修計画を立てやすいようにしたものです。

「同志社科目群」は以下の2つに分類されます。

○基礎科目

建学の精神の基本を学ぶ入門科目

○展開科目

建学の精神を詳しく学ぶ発展的な科目及び建学の精神に広く関連する科目で、キリスト教思想の根本や歴史などをより深く学ぶ科目

ぜひとも「同志社科目群」の履修を通じ新島襄先生の高遠な思想に触れていただき、そして「同志社人」としてのアイデンティティと誇りをもって巣立っていかれることを願っています。

同志社科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位	科目区分
基礎科目	1～	建学の精神とキリスト教	2	同志社科目
	1～	旧約聖書とキリスト教 (2016年度生は「キリスト教と人間1」) 新約聖書とキリスト教 (2016年度生は「キリスト教と人間2」) キリスト教とは何か1 (2016年度生のみ) キリスト教とは何か2 (2016年度生のみ)	2 2	同志社科目
展開科目	1～	キリスト教の歴史1 (2017年度生のみ) キリスト教の歴史2 (2016年度生は「キリスト教の歴史と同志社」) キリスト教会と現代文化 (2016年度生のみ) 人物から学ぶキリスト教の歴史 (2016年度生のみ)	2 2 2	同志社科目
	1～	同志社の歴史	2	
	1～	同志社の良心とダイバーシティ	2	
	1～	宗教学(1) 宗教学(2)	2	人文科学系科目

※「同志社科目群」を履修するのに特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

キャリア形成支援科目群

キャリアとは、狭い意味では職業生活に関することを指しますが、広い意味においては、人生の生き方そのものをいいます。

本学では、全学共通教養教育科目として「キャリア形成支援科目群」と「キャリア形成支援科目」を提供しています。

「キャリア形成支援科目群」とは、全学共通教養教育科目の中で、キャリア形成に関連する科目を体系的な履修奨励のためにピックアップしてわかりやすくまとめたものです。

「キャリア形成支援科目群」は、職業生活を中心にして、ライフプランニングから働く意識の醸成、人生観の養成まで扱う「キャリア形成支援科目」と、自分で自分の人生を設計する能力を身に付ける「プロジェクト科目」から構成されています。「キャリア形成支援科目群」の履修を通じて、人生のイメージを描き、自分で自分の人生を選んでいける自治自立の精神を身に付けていただきたいと考えています。

「キャリア形成支援科目群」は以下の2つに分類されます。

○基礎科目

キャリア形成の啓発的科目で、基本的事項を学ぶ科目

○展開科目

基礎科目の発展的な科目で、キャリア形成に関して実践的に、もしくは深く学ぶ科目

自己発見、自己形成により充実した幸せな人生を送るため、積極的に履修していただくことを期待しています。

キャリア形成支援科目群一覧表

	配当年次	科目名	単位	科目区分
基礎科目	1～	キャリア開発と学生生活	2	キャリア形成支援科目
	1～	キャリア開発の課題と方法	2	
	1～	労働市場の動向とキャリア形成	2	
	1・2のみ	インターンシップ入門	2	
	1～	メガトレンドを読む	2	
	1～	SDGsで考える社会課題とキャリア形成	2	
展開科目	2～	働くということ	2	キャリア形成支援科目
	1～	キャリア形成とインターンシップ(※)	2	
	1～	アントレプレナーシップ論	2	
	2～	プロジェクト科目1 プロジェクト科目2(※)	2	プロジェクト科目

※クラスにより配当年次が異なる。開講科目一覧表を参照すること。

※「キャリア形成支援科目群」を履修するには特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

プロジェクト科目

2024年度で廃止

「プロジェクト科目」は、教員が知識を伝授する座学の講義スタイルとは異なり、学生自らが構想・計画をし、ディスカッションを重ねながら、行動するという、実践型・参加型スタイルの授業です。企業や地域社会の方々から提案されたテーマをもとに、現場の生きた知恵や技術、そしてマネジメント・サイクルを学び、プロジェクトの立ち上げから完成までの一連のプロセスに主体的に関わりながら、実践的な問題発見・解決能力―社会を生き抜く力―を身に付けます。この科目は、現場の第一線で働く社会経験豊かな方々と本学の専任教員によって運営されるのが特長です。

なお、この科目は学外での活動も多く想定されますので、通常の科目とは違い、時間割や活動場所などいろいろな制約があります。しかし、この科目で培われたスキルは、今後かけがえのない財産となるはずです。

国際教養科目群

現代は国境を越えた多面的な交流が急速に進行するグローバル化の時代であり、豊富な知識を持って多様な価値観を互いに認め合い、異なる民族や文化に属する人々と協力しながら、未来を切り拓いていく人材が求められています。国際社会で活躍するためには、以下のような素養を身に付けることが必要であると考えます。

- ①現在の世界の諸相を理解するための豊かな知識
- ②積極的に異文化を理解し異文化に触れようとする姿勢
- ③外国語による卓越したコミュニケーション能力
- ④国際社会における諸課題の認識及び分析と解決能力
- ⑤日本と世界の近現代史及び世界の諸宗教についての十分な理解力
- ⑥日本の伝統・現代文化の知識と理解

本学では、以上を身に付けた実践力のある人材を育成するために、全学共通教養教育科目として「国際教養科目」を提供しています。そして、国際教養に関連する科目の体系的な履修を奨励するために「外国語教育科目」を含んだ①～⑥に関連する全学共通教養教育科目をピックアップして「国際教養科目群」として明示しています。

「国際教養科目群」は、異文化及び日本文化、世界の諸相及び諸課題を理解する科目である「国際教養科目」と、外国語運用能力・コミュニケーション能力を養成する「外国語教育科目」で構成されており、バランスよく国際感覚を身に付けることを目標にしています。「国際教養科目」には、外国語で授業が行われる科目や、受入留学生とともに学ぶ科目などが用意されており、留学を疑似体験することが可能となっています。また、「外国語教育科目」には、実際に海外の大学に短期間留学し、身に付けた国際教養を実践できる科目が用意されています。

国際社会で活躍できる人材の養成は、「国際主義」を教育理念のひとつとする本学に課せられた重要な社会的使命でもあります。ぜひ、積極的に履修してください。

「国際教養科目群」は以下の4つに分類されます。

○基礎科目

異文化に関する基本を学ぶ科目、「外国語教育科目」のうち留学を伴わない科目

○展開科目

異文化に関して深く学ぶ科目、「ことば」や国際社会に関して深く学ぶ科目

○留学関連科目

海外留学を伴う科目や受入留学生との合同授業で、外国語運用能力及び異文化理解を実践する科目

○グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

10ページを参照してください。

※「国際教養基礎論Ⅰ・Ⅱ」、「比較言語文化論Ⅰ・Ⅱ」、「地域言語文化論Ⅰ・Ⅱ」、「メタ言語文化論Ⅰ・Ⅱ」は2024年度の科目提供を最後に、2025年度からは廃止します。

国際教養科目群一覧表

	配当 年次	科目名	単位	科目 区分	備考	
基礎 科目	1～	国際教養基礎論1	2	国際 教 養 科 目	2024年度で廃止	
		国際教養基礎論2				
		日本近現代史	2			
		世界近現代史	2			
		世界の宗教	2			
		留学関連科目以外の外国語教育科目		外国語教育 科目		
展 開 科 目	1～	比較言語文化論Ⅰ	2	国際 教 養 科 目	2024年度で廃止	
		比較言語文化論2				
	1～	地域言語文化論Ⅰ	2			
		地域言語文化論2				
	1～	メタ言語文化論Ⅰ	2			
		メタ言語文化論2				
	2～	ジョイント・セミナー比較文化論	4		外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。	
	1～	多文化コミュニケーション学の基礎 (2016年度生のみ)	2			
		多文化コミュニケーション学の応用 (2016年度生のみ)	2			
	1～	異文化間コミュニケーションA	2		外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。外国人 留学生が履修する場合は、日本語・日本文化教育科目を 履修すること。	
1～	異文化間コミュニケーションB	2				

	配当 年次	科目名	単位	科目 区分	備考
留 学 関 連 科 目	1～	日本の伝統と美	2	国 際 教 養 科 目	外国人留学生と学ぶ科目。 一部のクラスは外国語で授業を行う。 外国人留学生在が履修する場合は、日本語・日本文化教育 科目を履修すること。
		日本の伝統と文化	2		
		日本の伝統と芸能	2		
		日本の伝統と能楽	2		
		日本の伝統と芸術	2		
	1～	日本とアジア1	2		外国人留学生と学ぶ科目。 一部のクラスは外国語で授業を行う。
		日本とアジア2			
	1～	チュービンゲン大学科目	2		外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。
	2～ ※③	Intercultural Studies	2		外国人留学生と学ぶ科目。
	2～ ※③	EUキャンパス特別講義	2		
	1～	Freshman “Go Global” Program	2		
	1～ ※①	サマープログラム・英語A	4	外 国 語 教 育 科 目	
	1～ ※①	サマープログラム・英語B	3		
	1～ ※①	サマープログラム・英語C	2		
	1～ ※②	スプリングプログラム・英語A	4		
	1～ ※②	スプリングプログラム・英語B	3		
	1～ ※②	スプリングプログラム・英語C	2		
	1～ ※②	スプリングプログラム・英語D	1		
	2～	セメスタープログラム・英語Ⅰ	4		
		セメスタープログラム・英語Ⅱ	4		
	2～ ※①	サマープログラム・ドイツ語A	4		
	2～ ※①	サマープログラム・ドイツ語B	3		
	1～ ※②	スプリングプログラム・ドイツ語	3		
	2～ ※③	セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ	4		
		セメスタープログラム・ドイツ語Ⅱ	4		
	2～ ※①	サマープログラム・フランス語	4		
	1～ ※②	スプリングプログラム・フランス語	3		
	2～ ※①	サマープログラム・中国語	4		
	1～ ※②	スプリングプログラム・中国語	1		
	2～ ※①	サマープログラム・スペイン語	4		
	2～ ※②	スプリングプログラム・スペイン語	1		
	1～ ※②	スプリングプログラム・スペイン語C	2		
	2～ ※①	サマープログラム・ロシア語	4		
	2～ ※①	サマープログラム・ロシア語	3		
	1～ ※②	スプリングプログラム・ロシア語	3		
					2016年度以前生のみの科目である。

*① サマープログラムは春学期科目だが、春学期末には成績付与されないため、再修生で9月卒業予定者は履修することができない。

*② スプリングプログラムは、秋学期科目だが、秋学期末には成績付与されないため、プログラム参加時に4年次生以上の者は履修できない。

*③ 同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」という教育プログラムを開講している。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」、「Intercultural Studies」、「EUキャンパス特別講義」で構成され、4科目セットで登録する。

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目は、10ページを参照してください。

2018年度より、以下の科目も国際教養科目群の科目として、履修できるようになりました。

◆京都科目

京都は、日本の中で、伝統、文化をはじめとした文化資本とハイテク産業の集積が最も進んだ都市です。そこにある豊かな素材を活用する「京都科目」は、京都の伝統、文化の真髄と普遍的価値、美意識や感性、精神性を理解するとともに、それらが受容性に優れ、広く異質なものを受け入れてきたことを理解することを目的としています。

「京都科目」では、「京都」を題材とした学びを通じ、日本各地の伝統、文化への汎用的理解力を養います。

◆クールジャパン科目

「クールジャパン科目」は、「クールジャパン」として世界が注目するコンテンツ、映画、ファッション、音楽、ゲームソフトなどを内容とする科目です。「他文化圏で受容されている現代日本文化の価値」について考察し、新たな文化の創造、文化による産業創出、海外への発信力の強化なども扱います。

◆クリエイティブ・ジャパン科目

「クリエイティブ・ジャパン科目」では、伝統、文化、芸術を産業振興、新産業の創出、まちづくり、地域コミュニティの再生など、社会のさまざまな分野で活用し、幅広い分野に波及させていくことで、日本社会のクリエイティビティを高めるための方法を思考し、文化による日本のブランディングについて考察します。

※「国際教養科目群」を履修するには特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録（科目による）、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

外国語教育科目

同志社大学は、教育理念のひとつとして「国際主義」を掲げています。高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身に付けること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語、及びドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の7カ国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。また、兼修外国語としてイタリア語も提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。そしてさらに、国際社会で活躍するための高度な語学力、専門分野に役立つような国際的視野の獲得に努めてください。「ことば」の学習をきっかけとしたさまざまな言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

受入留学生とともに学ぶ科目

全学共通教養教育科目では、言語や文化の異なる学生同士が日本のさまざまな文化や芸術についてともに学ぶ科目を数多く開講しています。これらの中には、外国語で授業が行われる科目もあります。該当する科目は4～5ページの表及び10ページ「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」で確認してください。

◆チュービンゲン大学科目

ドイツのチュービンゲン大学は、日本研究の拠点として同志社大学に「チュービンゲン大学同志社日本研究センター」を設置し、同大学からの留学生に向けて、日本語と日本文化を学ぶための講義を行っています。

「チュービンゲン大学科目」は、チュービンゲン大学同志社日本研究センターの講義を、チュービンゲン大学の学生とともに受講する科目で、講義はドイツ語で行われます。ドイツ語圏への留学準備や留学後のフォローアップに効果的です。ディスカッションに積極的に参加できるドイツ語レベルが望ましいです。

ドイツのEUキャンパスで学ぶ教育プログラム

ドイツのチュービンゲン大学内に設置されたEUキャンパスで春学期に集中的に学ぶ教育プログラム「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」があります。EUキャンパスの特色を生かし、以下の国際教養科目群の4科目をセットで登録します。

◆セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ (外国語教育科目)

1セメスター集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。また、フィールドトリップ(3～4箇所)も実施します。

◆Intercultural Studies (国際教養科目)

チュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。

◆EUキャンパス特別講義 (国際教養科目)

ドイツ及びヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とし、テーマごとにクラスを設定します。

人文科学系科目、社会科学系科目、 自然・人間科学系科目

「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」は、専門科目と相互に関連しながら学生の知識と徳性を助成して、人間形成を達成するために設置されています。

人類の主要な学問的知識の諸領域について、知の体系を総合的に学び、人間、社会及び自然について理解することは、専門分野での創意に富む研究力を修得するために、また人間としての自己形成を達成するためにどの専門分野に進む学生にとっても欠くことのできないことです。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

自然科学系科目の再編に伴う、履修・成績書き換えにおける注意
2024年4月より、自然科学系科目を再編いたしました。これに伴い、2023年度以前に、「数学Ⅰ・Ⅱ」、「物質の科学Ⅰ・Ⅱ」、「生命の科学Ⅰ・Ⅱ」、「地球と宇宙の科学Ⅰ・Ⅱ」、「科学史・科学論Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生は、履修や成績の書き換えにおいて注意が必要です。詳細は、以下のリンク先の案内を確認してください。



<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/syllabus/syllabus.html#rishuyoko>

保健体育科目

人生にとって心身の健康は、なくてはならないものです。人間が現代社会を豊かに生き抜くためには、健康や体力の維持・増進が求められます。そのためには、スポーツを通じて身体を動かす機会を持ち、そこから健康・体力に関する知識と管理方法を修得することが必要です。

保健体育科目のカリキュラムは、「講義科目」、「実技科目」の2部門から構成されており、「講義」と「実技」の両面から最新のスポーツ・サイエンスを学ぶことができます。

現代人にとって、健康のあり方について、講義を通じて理論的に学習することは、人生にとって大いに価値のあることです。また、実技科目である「スポーツ・パフォーマンス1」では、充実した体育施設の中で正確なスポーツ技術を学ぶことができ、安全にスポーツをする姿勢を身に付けながら、体力を向上させる方策を学修することができます。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

先端・複合領域科目

2024年度で廃止

◆先端領域科目

「先端領域科目」は、本学で現在行われている研究の最先端について、専門知識のない学生にわかりやすく教授する科目です。

たとえ、専門外の学生ではあっても、研究の最先端に直に触れることで、学問の奥深さと醍醐味を知ることができるはずです。新たな知の領域に触れる感動を自らの専門分野の学修、研究の原動力とすることができるように考えられ、開設されているのが「先端領域科目」です。

◆複合領域科目

現代社会が抱える現実の課題は非常に複雑で、その中には多岐にわたる問題が複合的に重なって存在しています。これらに対処するためには、ひとつの学問分野を切り口としたアプローチでは不十分であり、いくつかの学問分野にまたがる問題に対処する能力を育成することが重要です。

「複合領域科目」では、複数の学問分野に関連する特定のテーマについて、多方面から異なった専門分野の研究者が論じることによって、総合的かつ具体的な問題提供が可能となっており、それらの問題について学際的な視点で学ぶことができる科目です。

グローバル・リベラルアーツ副専攻

同志社大学では、「良心と進取の気性に溢れ、グローバル化する世界で新たな価値を創造できる人物」を養成することを目的として、「グローバル・リベラルアーツ副専攻」を設置しています。

1. すべての学部が受講できる

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、すべての学部の受講を希望する学生を対象にしています。所属学部・学科の専門科目とは別に、全学共通教養教育科目を定められた要件に沿って履修してください。

2. グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目 授業は英語、少人数で受入留学生とともに学ぶ対話型授業

国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。これらの科目は英語で授業を行い、そのほとんどを25名程度の少人数クラス、言語や文化の異なる学生同士がともに学ぶクラスとして編成します。事前学習を徹底し、グループワーク、ディスカッション中心の対話型授業を行うことで、柔軟な思考力と異なる文化や多様な価値観をもつ人々と協働する力を身に付けることができます。

副専攻の英語開講科目には、アーモスト大学をはじめ、ハーバード大学やスタンフォード大学など、アメリカの名門大学からの留学生とともに学ぶ科目もあります。

外国教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、原則、外国教員または海外の大学で学位を取得した教員が担当します。

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに

同志社大学には外国協定大学派遣留学生制度があり、37カ国（地域）175大学（2025年12月現在）に半年間または1年間留学することが可能です。

海外留学のための準備、帰国後のフォローアップに「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講すると効果的です。

副専攻英語開講科目は、1科目のみでも受講できる

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、1科目のみでも受講することができます。したがって副専攻の修了を目標にしていなくても、科目内容への関心に応じ、1科目からチャレンジすることができます。

3. 広い視野と多角的な思考力の養成

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」では、英語で授業を行う科目に加えて、キリスト教についての理解を深める科目など、全学共通教養教育科目を日本語で幅広く履修します。自分の専攻分野とは異なるさまざまな学問分野を学ぶことによって、広い視野をもって多角的に物事を思考する力を養います。

4. 修了要件

副専攻を修了するためには、卒業時に次の要件をすべて満たす必要があります。

- ① 「国際教養科目」のうち、「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」から8単位以上修得すること。
- ② 「同志社科目群」から4単位以上修得すること。
- ③ 「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」からそれぞれ2単位以上、計6単位以上修得すること。

- ④ 「キャリア形成支援科目」、「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」以外の「国際教養科目」、「先端・複合領域科目」、「プロジェクト科目」、「保健体育科目」の中から2単位以上修得すること。

- ⑤ 本学入学以降に受験した以下のいずれかの試験で、定められたスコアを得ていること。

試験名	スコア
TOEFL ITP®テスト	550以上 (2020年4月以降のスコアは本学実施のもののみ可。)
TOEFL iBT®テスト (TOEFL iBT® Home Editionテストも可。)	2026年1月20日以前に実施された試験 79以上 (「Test Dateスコア」のみ可。 「MyBest™スコア」は認めない。) 2026年1月21日以降に実施された試験 Total (1-6): 4以上 (「Test Dateスコア」のみ可。 「MyBest™スコア」は認めない。)
TOEFL® Essentials™テスト	Overall band score 8.5以上 (「Test Dateスコア」のみ可。 「MyBest™スコア」は認めない。)
TOEIC® LISTENING AND READING テスト (TOEIC® LISTENING AND READING テスト (IP)も可。 (TOEIC® LISTENING AND READINGテスト (IP (オンライン))は不可。)	730以上
IELTS (IELTSペーパー版、IELTSコンピューター版 (旧CD IELTS)、IELTSオンライン版、IELTS for UKVIいずれも可。)	Overall band score 6.0以上 (「One Skill Retakeスコア」は認めない。)

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEICは、エデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。

※「宗教学(1)」「宗教学(2)」は、②の「同志社科目群」または③の「人文科学系科目」のいずれか一方の科目として、算入すること。

※免許・資格の取得に必要な科目のうち、科目登録時に「M」を付けて登録した科目は、「グローバル・リベラルアーツ副専攻」の単位として認められない。

※自由科目は「グローバル・リベラルアーツ副専攻」の単位として認められない。

5. 科目登録

通常の手続きどおり、先行登録 (科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

6. 副専攻修了申請及び副専攻履修証明書

「グローバル・リベラルアーツ副専攻」を修了するためには、卒業年次の定められた期間に副専攻修了申請を行う必要があります。副専攻修了申請をしていない者は、副専攻を修了することができません。申請手続きの詳細や修了申請の受付期間等は、3年次の秋学期中に、全学共通教養教育センターのホームページでお知らせしますので、確認してください。

副専攻修了申請を行い、副専攻修了見込となった場合、「修了見込」の文言が記載された副専攻履修証明書の発行が可能になります。また、副専攻修了申請を行い、卒業時に修了に必要な要件をすべて満たした場合、「修了」の文言が記載された副専攻履修証明書の発行が可能になります。

なお、副専攻修了申請には、上記4. 修了要件⑤を満たすスコアの提出が必要になります。

※早期卒業予定者について、申請手続きの詳細を上記ホームページで2年次の秋学期中にお知らせする予定です。確認のうえ、定められた期間中に申請を行ってください。なお、早期卒業予定者には、「修了見込」の副専攻履修証明書は発行されません。

7. 注意事項

※修得した単位の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部 of 履修要項で確認してください。

※「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は、副専攻完修希望者に科目受講を保証するものではありません。クラス定員、時間割などの都合により、受講できない場合があります。

※「グローバル・リベラルアーツ副専攻」については、修了申請状況をDUETから確認することはできません。各自で記録し、管理してください。

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

科目区分	配当年次	科目名	単位	英語レベル
国際教養科目		<海外フィールドワーク>		
	1～	Mid-college “Be Strong” Program	4	
		<入門・導入>		
	1～	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	2	L0
	1～	Introduction to Japanese Society in the Global Context	2	L0
	1～	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	2	L0
		<応用・発展>		
	2～	Humanities and Global Issues	2	L2
	2～	Social Sciences and Global Issues	2	L2
	2～	Natural Sciences and Global Issues	2	L2
		<各論・展開>		
	1～	Japan in Modern World History	2	L2
	1～	International Relations in the Postwar Era	2	L2
	1～	Issues in Japanese Culture	2	L2
	1～	Japanese Thought and Religion 1	2	L1
	1～	Japanese Thought and Religion 2	2	L1
	1～	Tradition and Art in Japan 1	2	L1
	1～	Tradition and Art in Japan 2	2	L1
	1～	Japan Today 1	2	L1
	1～	Japan Today 2	2	L1
	1～	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	2	L2
	1～	Education in the Age of Globalization	2	L2
	1～	Issues in Intercultural Communication	2	L1
	1～	Economy and Business in the Global Context 1	2	L2
	1～	Economy and Business in the Global Context 2	2	L2
	1～	Principles of Economics	2	L2
	1～	Environmental Economics and Sustainability	2	L2
	1～	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	2	L2
	1～	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	2	L2
	1～	What Makes Humans Human? (2016年度以前生のみ)	2	L2
	1～	The Divisions of Identity in Society	2	L2
	1～	Statistics for the Social Sciences and Humanities	2	L2
	1～	Introduction to Computer Science and Information Technology	2	L1
	1～	Human Science in the Global Age	2	L2
	1～	Introduction to Quantitative Data Analysis	2	L2
	1～	Conservation of Japanese Nature and Environment	2	L2
	1～	Mathematics and its History	2	L1
	1～	Science of Natural Disasters	2	L2
	1～	Advanced Seminar 1	2	L3
	1～	Advanced Seminar 2	2	L3
	1～	Advanced Seminar 3	2	L3
		<外国協定大学科目>		
	1～ *①	スタンフォード大学科目	2	
	1～ *②	AKP科目	2	
	1～ *②	KCJS科目	2	

英語力がTOEFL ITP®テスト500のレベルに達していない者は、L0、L1から履修することをすすめる。
英語レベルの詳細については、シラバスを参照すること。

- *①「スタンフォード大学科目」の授業期間は、AUTUMN QUARTERが9月下旬～12月中旬、SPRING QUARTERが4月上旬～6月中旬である。
配当年次はAUTUMN QUARTERのクラスが1年次生から、SPRING QUARTERのクラスが2年次生からである。
- *②「AKP科目」「KCJS科目」の授業期間は、FALL SEMESTERが9月上旬～12月中旬、SPRING SEMESTERが1月中旬～4月中旬である。
配当年次はFALL SEMESTERのクラスが1年次生から、SPRING SEMESTERのクラスが2年次生からである。SPRING SEMESTERのクラスは、すべて次年度春学期科目の扱いになるため、配当年次は2年次生になるが、授業は前年度1月上旬から開始されるので注意すること。したがって、授業開始年度に卒業予定の学生は履修できない。

◆スタンフォード大学科目

「スタンフォード日本センター」が同志社大学で実施している、スタンフォード大学の学部生が履修する日本留学プログラムの講義を受講する科目です。

講義は英語で行われ、内容は日本の技術分野に関するものから日本政治、経済、宗教、文化まで幅広く網羅されています。

この講義では、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆AKP科目

Associated Kyoto Program (AKP) は、アーモスト大学をはじめとするアメリカを代表する13のリベラルアーツ・カレッジ（アーモスト大学、ベイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オーバリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学）が日本語や日本文化などの日本学教育を目的とし、同志社大学に設置した「AKP同志社留学生センター」が提供する海外留学プログラムです。

「AKP科目」はAKPプログラムの英語による講義をAKP学生とともに受講する科目です。

この講義では、AKP学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆KCJS科目

Kyoto Consortium for Japanese Studies (KCJS) は1989年に京都市内に設立された機関で、米国の学生に1年間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の名門総合大学（ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学（バーナードカレッジを含む）、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルベニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学（セントルイス）、イエール大学、バージニア大学）が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流がすすめられています。

「KCJS科目」はKCJSプログラムの英語による講義をKCJS学生とともに受講する科目です。

この講義では、KCJS学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」

- ・副専攻修了申請を行い、プログラムの必要単位を満たせば、学習歴のデジタル証明である「オープンバッジ」を希望者に発行します。
- ・オープンバッジの発行を希望する場合は「グローバル・リベラルアーツ副専攻」修了申請書の発行希望確認欄に記入して申請してください。発行希望の申請にあたっては大学発行以外のメールアドレスが必要です。
- ・副専攻の必要単位を満たし、かつ、発行希望申請をした学生を対象に、各学期の成績通知日から3営業日以内に発行作業を行います。オープンバッジの受領手順は申請時に記入したメールアドレスに案内します。



グローバル・リベラルアーツ副専攻 オープンバッジ

グローバル・リベラルアーツ副専攻については、以下のURLからご覧ください。



<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/minor/overview.html>

同志社英語集中プログラム

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講し、海外留学を実現できるよう、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの習得を目指す「同志社英語集中プログラム」を開設しています。副専攻の英語開講科目を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをおすすめします。

1. プログラムの構成

同志社英語集中プログラムは、次の正課科目と課外講座から構成されています。

科目区分	配当年次	科目名	単位
外国語教育科目	1・2	イングリッシュ・プラクティクム1	4
	1・2	イングリッシュ・プラクティクム2	4
	1～	Intensive Courses for TOEFL (Practice) ※1	1
	1～	Intensive Courses for TOEFL (Tutorial) ※1	1
	1～	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 ※2	2
	1～	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 ※2	2
	1～	Study Abroad Preparation (IELTS) 1 ※2	2
	1～	Study Abroad Preparation (IELTS) 2 ※2	2

※1 2021年度まで開講

※2 2022年度以降開講

課外講座

TOEFL ITP® テスト対策講座 ほか

2. 科目内容

イングリッシュ・プラクティクム1 イングリッシュ・プラクティクム2

一定の英語運用能力と学習意欲を備えた1・2年次生を対象にした週2回集中型のクラスで、アドヴァンスト・レベルの学生を対象とします。異文化理解に必須の高度な英語の4技能の養成、留学に必要な語学力の養成を目指します。授業はすべて英語で行われ、教材を読み、聴き、その内容に関してディスカッションをするなど、授業中に積極的な意見表明をすることが求められます。また、自分の意見をまとめて書くアサインメントを複数回与えられ、最終的には一定の長さのエッセイ作成やプレゼンテーションが課されます。

「イングリッシュ・プラクティクム2」は「イングリッシュ・プラクティクム1」より、さらに高度な内容で授業が行われます。

Intensive Courses for TOEFL (Practice)

Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)

留学を目指す上で、もっとも必要とされるものが外国語能力です。中でも留学基準とされるTOEFL®テストのための英語力養成は欠かせません。「Intensive Courses for TOEFL (Practice)」と「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)」を受講して、早い段階から留学のための英語力を身に付けておきましょう（これら2つの科目を同一学期にセットで履修します）。

◆Intensive Courses for TOEFL (Practice)

TOEFL ITP®テストの対策を行います。TOEFL ITP®テストの試験構成とパターンを知り、TOEFL ITP®テストで求められる2技能（Listening、Reading）の訓練と文法力の強化を中心に、実践問題を解きながらスコアアップを目指します。

◆Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)

TOEFL iBT®テストの対策を行います。TOEFL iBT®テストの試験構成と問題形式を知り、「聴く・読む」に加え「話す・書く」訓練を集中的に行います。留学先では、情報の受理だけでなく、読み、聞いて理解した上で分類・要約・合成し、自分の意見へと発展させることが頻繁に求められます。そういった留学先での学習シミュレーションをとおして、より総合的な英語運用能力を磨きます。

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2

Study Abroad Preparation (IELTS) 1

Study Abroad Preparation (IELTS) 2

TOEFLテストやIELTSといった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。

3. 課外講座について

講座の内容や申込み方法は、国際課ホームページ内、「語学テスト、語学テスト対策講座」を確認してください。

なお、受講には受講料の納入が必要になります。

4. 注意事項

※上記の科目をすべて履修する必要はありません。自らの英語力に応じ、十分な履修計画を立てて、受講してください。ただし、「Intensive Courses for TOEFL」を履修する場合は、「Practice」と「Tutorial」を同一学期にセットで履修しなければなりません。

※「同志社英語集中プログラム」を受講しなくても、「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講することはできます。ただし、副専攻英語開講科目を受講する上で、英語力が十分でない場合は、このプログラムの受講を強くすすめます。

※いずれの科目も受講に必要な英語レベルが定められています。詳細は、登録要領やシラバスを確認してください。

※先行登録の方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

同志社データサイエンス・AI教育プログラム (DDASH)

同志社大学では、文理を問わず、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を身に付け、各自の専門分野での学修や社会生活でこれらを道具として活用し、新たな価値を創造できる人物の養成を目的として、2022年度に「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」を設置しました。

DDASHは「リテラシーレベル」に加え、さらに深く学ぶ「応用基礎レベル」及び「データサイエンス・AI副専攻」の3つのプログラムで構成します。

※「データサイエンス・AI副専攻」は2022年度以降生が対象です。

DDASHを学ぶ理由

科学技術が高度に発達した現代社会では、さまざまな事象や人々の行動は膨大な量のデータとして蓄積され、商品開発から医療診断、防災、防犯など、私たちの生活を取り巻くあらゆる分野で重視され、活用されています。データやAIをいかに利活用できるかは、今や各国にとって経済成長を遂げるうえでの最重要課題と言っても過言ではありません。

データ分析やデータ加工の過程では、数学的な基礎知識が必要ですが、これらを実際の社会活動に活かすためのアイデアや工夫には、文系の知識や発想が役立つでしょう。また、これらを人間が正しく判断し、活用するために哲学、倫理、法学、論理的思考など、人文・社会科学の教養も求められます。

本プログラムは理系学生だけのものではなく、分野を問わず、多くの学生に学んでもらいたい現代社会の教養です。

特徴

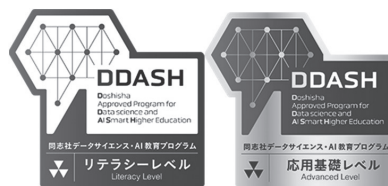
- ・専門分野を問わず、すべての学部学生が履修可能な全学共通教養教育科目で構成するプログラムです。
- ・必修科目の「データサイエンス概論」、「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」は、オンデマンド配信の科目のため、時間・場所を問わず受講できます。(「データサイエンス基礎」と「データエンジニアリング基礎」は試験のみ指定の曜日・講時で対面試験を実施。)
- ・本学学生向けの特別価格で「統計検定」の受験が可能です。このことにより、自身の学修の到達度を客観的に確認できます。
- ・プログラムの必要単位を満たせば、卒業可否に関わらず学習歴のデジタル証明である「オープンバッジ」を希望者に発行します。就職活動等、学内外でのスキルの証明に活用できます。
- ・プログラム履修生を対象に、初学者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」の有料コンテンツを無料で利用できる「paizaラーニング学校フリーパス」を提供します。プログラミングの自学自習やスキルチェックに効果的です。

学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」

- ・オープンバッジの発行希望の確認は各プログラム履修生を対象に同志社ポータルにて案内します。
- ・発行を希望した場合、同志社データサイエンス・AI教育プログラムのすべてのプログラムでの発行を希望したものとみなし、プロ

ム毎の発行希望の連絡は不要です。

- ・プログラムの必要単位を満たし、かつ、発行を希望した学生を対象に、各学期の成績通知日から3営業日以内に発行作業を行います。オープンバッジの受領手順は同志社ポータルにて案内します。



同志社データサイエンス・AI教育プログラム オープンバッジ

初学者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」

- ・paizaラーニング学校フリーパス利用申請の受付はプログラム履修生を対象に同志社ポータルにて案内します。
- ・利用開始にはpaizaのユーザー登録と、利用申請後に配布されるクーポンコードの適用が必要です。
- ・学校フリーパスは年度末まで利用可能です。翌年度以降も利用を希望する場合は、再度の利用申請が必要となります。申請方法は対象者に同志社ポータルにて案内します。

履修状況の確認

- ・プログラムの履修状況は、以下のいずれかで確認できます。なお、在学中に修了要件を満たしても、プログラムの修了が認められるのは卒業が確定した時点です。ただし、オープンバッジは卒業の可否に関わらず修了要件を満たせば発行が可能になります。
 - DUETの「成績・履修状況」→「その他教育プログラム」
 - 成績通知書の「学業に関する事項」欄

履修中：大学がプログラム申請の一括登録をした状態（当該科目及び選択科目の単位修得状況は問わない）。

修了見込：大学がプログラム申請を一括登録し、かつ、プログラム修了に必要な科目を登録している状態。

単位修得：在学中にプログラム修了に必要な単位をすべて修得した状態。

修了：在学中にプログラム修了に必要な単位をすべて修得し、卒業が確定した状態。

未修了：プログラム修了に必要な単位を修得せずに、卒業が確定した状態。

- ・「単位修得」の状態になれば、本プログラムの学びを終え、必要な知識やスキルを身に付けたことになり、対外的にアピールすることも可能で、オープンバッジの発行が可能になります。

リテラシーレベル

文系理系を問わず、「データを読む、説明する、扱う」といった基本スキルを身に付けるとともに、社会の変化、社会におけるデータ・AIの活用領域と利活用例、利活用におけるさまざまな留意事項を理解します。なお、本プログラムは、デジタル社会で活躍する人材に必要な教育を全国の大学に普及させるために設置した「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した構成となり、令和5年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定プログラムです（認定の有効期限：令和10年3月31日まで）。

リテラシーレベル プログラム構成

	科目名	科目区分	必要単位数	
必修科目	データサイエンス概論	自然・人間科学系科目	2単位	6単位
選択科目	Statistics for the Social Sciences and Humanities	国際教養科目	4単位	
	論理的思考の基礎（１）、論理的思考の基礎（２）、論理的思考の応用（１）、論理的思考の応用（２）	人文科学系科目		
	数学1、数学2、データサイエンス1、データサイエンス2、サイバーセキュリティ入門、数学、自然科学特論* *自然科学特論は数学クラスのみが対象	自然・人間科学系科目		

※必修科目、選択科目についてすべて配当年次は「1～」、単位数は「2単位」

プログラムの修了要件

- ・必修科目「データサイエンス概論」2単位、選択科目の中から2科目4単位以上、計3科目6単位以上を修得した場合、卒業時にプログラム修了が認められます。

プログラムの登録申請

- ・必修科目「データサイエンス概論」を登録し、履修中止せずに受講を続けた者について、本プログラムに申請したものとみなします（当該科目の不合格者も含む）。なお、各学期の履修中止期間から約1週間後に大学が一括登録しますので、各自で本プログラムの登録申請を行う必要はありません。
- ・必修科目「データサイエンス概論」のみの履修も可能です。その場合においても、DUETや成績通知書にはプログラムを履修中である旨が表示されますが、卒業可否には影響しません。

注意事項

- ※本プログラムの修了証は発行されません。DUETまたは成績通知書の「学業に関する事項」欄で修了の可否を確認してください。なお、希望者には学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行します。
- ※修得した単位の卒業要件やカリキュラム上の取り扱いについては、所属する学部・履修要項で確認してください。
- ※本プログラムは、完修希望者の科目登録を保証するものではありません。個々の科目のクラス定員や時間割などの都合により、受講できない場合があります。

応用基礎レベル

リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につながる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得することを目標としています。なお、本プログラムもリテラシーレベル同様「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した構成となり、令和6年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の認定プログラムです。（認定の有効期限：令和11年3月31日まで）。

応用基礎レベル プログラム構成

	科目名	科目区分	必要単位数	
必修科目	データサイエンス概論、データサイエンス基礎、データエンジニアリング基礎、AI基礎	自然・人間科学系科目	8単位	12単位
選択科目	Statistics for the Social Sciences and Humanities	国際教養科目	4単位	
	論理的思考の基礎(1)、論理的思考の基礎(2)、論理的思考の応用(1)、論理的思考の応用(2)	人文科学系科目		
	数学1、数学2、データサイエンス1、データサイエンス2、サイバーセキュリティ入門、数学、自然科学特論* *自然科学特論は数学クラスのみが対象	自然・人間科学系科目		

※必修科目、選択科目についてすべて配当年次は「1～」、単位数は「2単位」。

- ※必修科目の「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」の履修には「データサイエンス概論」の単位修得が必要。

プログラムの修了要件

- ・必修科目8単位、選択科目の中から2科目4単位以上、計6科目12単位以上を修得した場合、卒業時にプログラム修了が認められます。

プログラムの登録申請

- ・必修科目「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」のいずれかを登録し、履修中止せずに受講を続けた者について、本プログラムに申請したものとみなします（当該科目の不合格者も含む）。なお、各学期の履修中止期間から約1週間後に大学が一括登録しますので、各自で本プログラムの登録申請を行う必要はありません。
- ・必修科目「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」のみの履修も可能です。その場合においても、DUETや成績通知書にはプログラムを履修中である旨が表示されますが、卒業可否には影響しません。

注意事項

- ※本プログラムの修了証は発行されません。DUETまたは成績通知書の「学業に関する事項欄」で修了の可否を確認してください。なお、希望者には学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行します。
- ※修得した単位の卒業要件やカリキュラム上の取り扱いについては、所属する学部・履修要項で確認してください。
- ※本プログラムは、完修希望者の科目登録を保証するものではありません。個々の科目のクラス定員や時間割などの都合により、受講できない場合があります。

同志社データサイエンス・AI教育プログラム（DDASH）については、以下のURLからご覧ください。

<https://cgile.doshisha.ac.jp/cgile/ddash/overview.html>



全学共通教養教育科目の履修について

「全学共通教養教育科目」はそれぞれが自分の興味関心に応じた履修計画を立て、その上で登録履修するものです。この点がそれぞれの学部・専門科目と異なる点です。「それならなんでも自由に選んでいいのだ」と考える人がいるかもしれません。しかし、それでは皆さんの教養がばらばらで、統一性のないものになってしまいます。

まずは、履修モデル(※)などを参考にして自分独自の履修計画を立ててみてください。それには次の5つの観点が大事です。

- 1) 建学の精神、キリスト教、宗教全般について考えてみよう!
- 2) 自分の専攻分野とは異なる分野を学んで、物事を多面的に見られるようにしよう!
- 3) 論理的思考力、コミュニケーション力をしっかり鍛えよう!
- 4) 4年間を通じて学ぶつもりで、バランスよく配置してみよう!
- 5) 総まとめに、自分の専攻分野について、その社会的な意味を考えてみよう!

※履修モデルは、全学共通教養教育センターのホームページに掲載しています。

<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/syllabus/syllabus.html>



全学共通教養教育科目 登録・受講にあたっての注意

1. 対象(学部・入学年度)について

この『履修要項』は、全学部の2017・2016年度生を対象としています。

2. 科目区分について

入学年度によって履修できる科目区分が異なります。履修できる科目区分を確認の上、開講科目一覧表を参照してください。

(2017・2016年度生対象の科目区分は、17ページ参照)

3. 修得した単位について

修得した単位の取扱い(卒業必要単位への算入方法等)は、各学部によって異なります。また、登録にあたって、個別の条件が付加される場合がありますので、所属学部・学年の『履修要項』を参照し、十分に理解した上で登録してください。

4. 科目コードについて

科目登録の際、入学年度によって科目コードが異なる場合がありますので、注意してください。

5. 各クラスの授業形態について

それぞれのクラスがどのような授業形態(面接授業、遠隔授業など)で行われるのかは、シラバスで確認してください。

6. 「先行登録科目」の登録について

「先行登録科目」の登録手続きについては、各学部『登録要領』で確認してください。

7. 「外国語教育科目」の登録について

「外国語教育科目」は、学部・学科によってクラスが指定されている科目や先行登録が行われる科目があります。詳細は各学部『登録要領』で確認してください。また、クラスコード(***)、担当者、校地、期間時間、履修条件などについては、各学部『登録要領』を参照してください。

8. 「保健体育科目」の登録について

「保健体育科目」は、先行登録が行われる科目があります。詳細は各学部『登録要領』で確認してください。また、クラスコード(***)、担当者、校地、期間時間、履修条件などについては、各学部『登録要領』を参照してください。

9. 「大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」で実施される科目について

「大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」で実施される科目は、本学と講義時間帯が異なるため、前後に今出川校地開講科目を登録する場合は20分間の移動時間、京田辺校地開講科目を登録する場合は50分間の移動時間を確保しなければ登録できません。また、本学休講日に授業が行われることもあります。

10. クラス分割及び登録クラスの変更について

登録の結果、受講生が多数となり適切な授業運営が不可能であると判断された場合は、クラスを分割し、時間割上履修可能な他の曜日講時に登録を移す措置をとることがあります。

11. 掲示板について

「全学共通教養教育科目」の掲示板は以下のとおりです。

京田辺校地：知真館1号館1階通路

今出川校地：良心館東側<今出川キャンパス>

：尋真館1階南側<新町キャンパス>

12. 受講に対する配慮について

「見る」「聴く」「話す」「四肢を使って作業する」など、心身の機能障がいのため「社会的障壁」となる内容を含む科目(演習、実験、実習、語学など)については、「合理的配慮」として代替措置をとることが可能なものがあります。

登録前に、学部・研究科事務室までご相談ください。

授業1週目(DO Week)と授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法について

通常の教室での授業を13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本とします。授業1週目(DO Week)のオンデマンド配信はシラバスからURLを確認して受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学HPに掲載しています。以下URLもしくはQRコードから詳細を確認してください。

また、授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

■DO Weekから始まる新たな学び

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



遠隔授業(ネット配信授業)の卒業必要単位数の上限に注意！

同志社大学学則第9条の5では、文部科学省令である大学設置基準に規定されている遠隔授業の卒業必要単位数への算入上限を規定しており、学修支援システムDUETやシラバスに掲載している「学則第9条の5対象」は履修中の科目、もしくは単位修得済の科目がその「対象」であるか「対象外」であるかを示すものです。

本学では、2023年度までは新型コロナウイルス感染症における特例措置等により、すべての科目を「学則第9条の5」の「対象外」としています。これにより、すべての修得単位が卒業必要単位数へ算入されるため、この表示に留意する必要はありませんでしたが、2024年度以降は特例措置の適用がなくなるため、この項目に留意して履修計画を立てる必要があります。

所属する学部によって卒業必要単位数への算入上限単位数が決まっており、各科目が「対象」か「対象外」かについてはシラバスで確認してください。詳細については以下URLもしくはQRコードから確認してください。

■「学則第9条の5対象」に関するホームページ

<https://duet-man.doshisha.ac.jp/student/article9-5.pdf>



全学共通教養教育科目 開講科目

- ・同志社科目
- ・キャリア形成支援科目
- ・国際教養科目
- ・人文科学系科目
- ・社会科学系科目
- ・自然・人間科学系科目
- ・先端・複合領域科目
- ・プロジェクト科目
- ・外国語教育科目
- ・保健体育科目

開講科目一覧表の見方について

配当年次

履修できる学年を示します。

<例>

2～：2年次以上で履修できる科目です。

登録コード

科目を特定する「科目コード」とクラスを特定する「クラスコード」で構成されています。クラスコードが記載されている科目は、科目登録の際、両方のコードを正しく入力してください。

教育プログラム構成科目

各教育プログラムを構成する科目を表します。

(DDASH)：同志社データサイエンス・AI教育プログラム

校 地

授業が開講される校地を表します。

田：京田辺校地
今：今出川校地
交流セ：交流センター
リトリート：同志社びわこリトリートセンター
インタ：インターネット授業
海外：海外キャンパス

期間・時間

授業が開講される期間・時間を表します。

<例>

春2：春学期に開講、週2時間（1講時分）
秋2：秋学期に開講、週2時間（1講時分）
春・秋2：春学期・秋学期を通して開講、週2時間（1講時分）
春・集中：春学期に集中科目として開講
秋・集中：秋学期に集中科目として開講
通年集中：春学期・秋学期にわたって、集中科目として開講

備 考

「先行登録」、「学部クラス指定」、「履修対象年度」などの注意事項が記載されています。

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考		
		科目コード	クラスコード										
同志社 科目	1～	16001000	501	建学の精神とキリスト教-501	新島襄・同志社・キリスト教の基礎	2		三輪 地塩	インタ	春2	※経済学部生は「同志社科目」を登録することが望ましい。 ※商学部生は「同志社科目」を1科目以上登録することが望ましい。 ※理工学部生は「同志社科目群」より2単位以上修得しなければならない。(詳細は理工学部『履修要項』を参照) ※心理学部生は「同志社科目」および「宗教学(1)」「宗教学(2)」より4単位以上修得しなければならない。(詳細は心理学部『履修要項』を参照) 建学の精神とキリスト教 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 神学部生は登録できない。		
			502	建学の精神とキリスト教-502	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			木谷 佳楠					
			503	建学の精神とキリスト教-503	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			黒柳 志仁					
			504	建学の精神とキリスト教-504	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			杉田 俊介					
			505	建学の精神とキリスト教-505	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			三輪 地塩					
			506	建学の精神とキリスト教-506	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			木谷 佳楠					
			507	建学の精神とキリスト教-507	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			黒柳 志仁					
			508	建学の精神とキリスト教-508	新島襄・同志社・キリスト教の基礎			杉田 俊介					
		16000021	001	旧約聖書とキリスト教-1	現代の視点からの学び	2		徳田 信	田	春2			
			051	旧約聖書とキリスト教-51	現代の視点からの学び			菅根 信彦				今	
			061	旧約聖書とキリスト教-61	現代の視点からの学び			黒柳 志仁					秋2
			501	旧約聖書とキリスト教-501	現代の視点からの学び			李 元重					春2
			511	旧約聖書とキリスト教-511	現代の視点からの学び			森田 喜基					インタ
		16000022	011	新約聖書とキリスト教-11	現代の視点からの学び	2		徳田 信	田	秋2			
			051	新約聖書とキリスト教-51	現代の視点からの学び			黒柳 志仁				今	
			061	新約聖書とキリスト教-61	現代の視点からの学び			菅根 信彦					春2
			501	新約聖書とキリスト教-501	現代の視点からの学び			森田 喜基			インタ		春2
			511	新約聖書とキリスト教-511	現代の視点からの学び			李 元重			秋2		
		16000023	011	キリスト教の歴史Ⅰ-11	古代から中世まで	2		李 元重	田	秋2			
			051	キリスト教の歴史Ⅰ-51	古代から中世まで			越川 弘英			今		
			501	キリスト教の歴史Ⅰ-501	古代から中世まで			森田 喜基				春2	
			511	キリスト教の歴史Ⅰ-511	古代から中世まで			李 元重				インタ	秋2
		16000024	001	キリスト教の歴史2-1	宗教改革から現代まで	2		李 元重	田	春2			
			061	キリスト教の歴史2-61	宗教改革から現代まで			越川 弘英			今		
			501	キリスト教の歴史2-501	宗教改革から現代まで			李 元重				インタ	春2
			511	キリスト教の歴史2-511	宗教改革から現代まで			森田 喜基				秋2	
		16000011	001	キリスト教と人間Ⅰ-1	旧約聖書の視点から	2		李 元重	田	春2			
			051	キリスト教と人間Ⅰ-51	旧約聖書の視点から			菅根 信彦			今		
			061	キリスト教と人間Ⅰ-61	旧約聖書の視点から			黒柳 志仁				秋2	
			501	キリスト教と人間Ⅰ-501	旧約聖書の視点から			李 元重				インタ	春2
			511	キリスト教と人間Ⅰ-511	旧約聖書の視点から			森田 喜基				秋2	
		16000012	011	キリスト教と人間2-11	新約聖書の視点から	2		李 元重	田	秋2			
			051	キリスト教と人間2-51	新約聖書の視点から			黒柳 志仁			今		
			061	キリスト教と人間2-61	新約聖書の視点から			菅根 信彦				春2	
			501	キリスト教と人間2-501	新約聖書の視点から			森田 喜基				インタ	春2
			511	キリスト教と人間2-511	新約聖書の視点から			李 元重				秋2	
					キリスト教とは何かⅠ		2		休 講				キリスト教とは何かⅠ キリスト教とは何か2 2016年度生の科目である。
					キリスト教とは何か2		2		休 講				
					キリスト教会と現代文化		2		休 講				キリスト教会と現代文化 人物から学ぶキリスト教の歴史 キリスト教の歴史と同志社 2016年度生の科目である。
					人物から学ぶキリスト教の歴史		2		休 講				
		16000017	001	キリスト教の歴史と同志社-1	宗教改革から現代まで	2		李 元重	田	春2			
			061	キリスト教の歴史と同志社-61	宗教改革から現代まで			越川 弘英			今		
			501	キリスト教の歴史と同志社-501	宗教改革から現代まで			李 元重				インタ	春2
			511	キリスト教の歴史と同志社-511	宗教改革から現代まで			森田 喜基				秋2	
		16002000	001	同志社の歴史-1	資料の再検討から考える同志社の通史	2		小枝 弘和	田	秋2			
			051	同志社の歴史-51	資料の再検討から考える同志社の通史			小枝 弘和			今	春2	
16000025			同志社の良心とダイバーシティ 性の多様性・ジェンダー平等・多文化共生・障がい者支援		2		川口 章 植木 朝子 梶山 玉香 檜垣 伸次 藤本 哲史 阪田真己子 越水 雄二 空閑 浩人 崔 紗華 REGINE DIETH 見原 礼子 森田 喜基	インタ	秋2				

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス　サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備　考
		科目コード	クラスコード							
キ ャ リ ア 形 成 支 援 科 目	1～	16000100		キャリア開発と学生生活　働くことは生きること	2		阪田 真己子	インタ	春2	キャリア開発と学生生活 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 労働市場の動向とキャリア形成 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。
				キャリア開発の課題と方法	2		休　講			
		16000104	001	労働市場の動向とキャリア形成-1　社会の変化に対応するために	2		野村　友和	田 今	秋2	
			051	労働市場の動向とキャリア形成-51　社会の変化に対応するために						
	1・2 のみ			インターンシップ入門	2		休　講			
	1～	16000105		メガトレンドを読む　今後30年の日本そして世界の姿	2		田中　博文 松田　拓也 福田　芳久 宮内　禎一 松尾　博文 小竹　洋之 山田　　剛 福山　敬太 伊集院　敦 大岩佐和子 吉田ありさ 鈴木　哲也 青木　　慎一 久門　武史 堤　　正治 木原健一郎 石黒　和宏 武類　祥子	インタ	秋2	メガトレンドを読む 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 SDGsで考える社会課題とキャリア形成 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。
		16000106	001	SDGsで考える社会課題とキャリア形成-1 世界をよりよく変革するために	2		上田　　敬 宮内　禎一 赤川　省吾 木村　恭子 久保田啓介 毛利　靖子 永田　好生 谷口　　誠 高橋　　徹	田 今	春2	
			051	SDGsで考える社会課題とキャリア形成-51 世界をよりよく変革するために						
		2～	16009100		働くということ　現代の労働組合	2		寺井　基博 上田　眞士 朴　　峻喜	今	
	1～	16000103	201	キャリア形成とインターンシップ-201	2		多田　　実 関　　智宏 中道　一心	交流セ	通年集中	キャリア形成とインターンシップ-201 科目登録前に必ず科目説明 動画を視聴すること。 詳細については『登録要領』を参照。 商、政策学部生は登録科目が異 なるため、『登録要領』を参照。
		16000107	001	アントレプレナーシップ論-1　起業に必要な知識を実践的に学ぶ	2		白石　由己 太田原　準 倉林　　陽	田 今	春2	アントレプレナーシップ論 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。
			051	アントレプレナーシップ論-51　起業に必要な知識を実践的に学ぶ						
国 際 教 養 科 目	2～	16000200		ジョイント・セミナー比較文化論	4		AYSUN UYAR LINUS YAMANE	今	秋4	ジョイント・セミナー比較文化論 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 授業は英語で行われる。
	1～			多文化コミュニケーション学の基礎	2		休　講			日本の伝統と美 日本の伝統と文化 日本の伝統と芸能 日本の伝統と能楽 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 別途費用が必要な科目もある ので注意すること。 上記4科目の外国人留学生 および国際教養コース (ILA)の学生の登録につい ては、所属学部の『履修要 項』『日本語・日本文化教育 科目 履修の手引き』を参照。 日本の伝統と美 日本の伝統と文化 日本の伝統と芸能-53 授業は日本語と場合により 英語で行われる。
				多文化コミュニケーション学の応用	2		休　講			
				異文化間コミュニケーションA	2		休　講			
				異文化間コミュニケーションB	2		休　講			
		16000203	051	日本の伝統と美-51　いけばなを知る	2		芦田　一寿	今	春2	
			052	日本の伝統と美-52　いけばなを感じる			芦田　一寿		秋2	
		16000204	001	日本の伝統と文化-1　日本人の見た花の美しさ	2		芦田　一寿	田	春2	
			002	日本の伝統と文化-2　日本人の見た花の美しさ			芦田　一寿		秋2	
			003	日本の伝統と文化-3　着物			榎木　良子		春2	
			004	日本の伝統と文化-4　着物			榎木　良子		秋2	
			051	日本の伝統と文化-51　日本人の見た花の美しさ			芦田　一寿	今	春2	
			052	日本の伝統と文化-52　日本人の見た花の美しさ			芦田　一寿		秋2	
			053	日本の伝統と文化-53　着物			榎木　良子		春2	
			054	日本の伝統と文化-54　着物			榎木　良子		秋2	
	16000205	051	日本の伝統と芸能-51　雅楽	2		中川　久公	今	春2		
		052	日本の伝統と芸能-52　雅楽			中川　久公		秋2		
		053	日本の伝統と芸能-53　仮名手本忠臣蔵を読む			高　永珍		春2		

17-16年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード 科目コード	科目名－クラス サブタイトル	単位	教育プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備考
同志社科目		16000206	051 日本の伝統と能楽-51 能楽を通してみる日本の伝統文化	2		河村 晴久	今	春2	
			052 日本の伝統と能楽-52 能楽を通してみる日本の伝統文化			河村 晴久		秋2	
キャリア形成 支援科目			日本の伝統と芸術	2		休 講			
			16000214 051 日本とアジア I-51 日中文化交流			李 長波		春2	
国際教養科目		16000215	051 日本とアジア 2-51 近代とは何か?	2		李 長波	今	秋2	日本とアジア I-51 日本とアジア 2-51 授業は中国語と日本語併用で行われる。先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			052 日本とアジア 2-52 日韓文化交流			高 永珍		秋2	
人文科学系科目			スタンフォード大学科目	2			今	春2	日本とアジア 2-52 授業はコリア語で行われる。先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			スタンフォード大学科目					秋2	
社会科学系科目			A K P 科目	2			今	春2	スタンフォード大学科目 AKP科目 KCJS科目 選考試験を実施する。詳細は『登録要領』および別頁「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を参照。授業は英語で行われる。
			A K P 科目					秋2	
自然・人間 科学系科目			K C J S 科目	2			今	春2	
			K C J S 科目					秋2	
先端・複合 領域科目		16606500	051 テュービンゲン大学科目-51 日本における民族的マイノリティとマージナルグループ	2		MICHAEL WACHUTKA	今	春2	テュービンゲン大学科目 授業はドイツ語で行われる。
			052 テュービンゲン大学科目-52 過去と現在の日常民間信仰			MICHAEL WACHUTKA		秋2	
プロジェクト 科目		16002200	001 日本近現代史-1 社会史の観点から	2		吉村 智博	田	春2	日本近現代史-52 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			002 日本近現代史-2 阪神地方の都市史を素材として			辻川 敦		秋2	
外国語教育科目		16002201	051 日本近現代史-51 社会史の観点から	2		吉村 智博	今	春2	
			052 日本近現代史-52 阪神地方の都市史を素材として			辻川 敦		秋2	
保健体育科目		16002201	001 世界近現代史-1 東アジア近現代史の相関及び他地域との比較	2		成田 千尋	田	春2	世界近現代史-51 法・商・グローバル地域文化学部生は登録できない。
			002 世界近現代史-2 東アジア近現代史の相関及び他地域との比較			成田 千尋		秋2	
		16001200	051 世界近現代史-51 近現代東アジアにおける戦争と植民地支配	2		西村 直登	今	春2	世界近現代史-52 社会・経済・政策学部生は登録できない。
			052 世界近現代史-52 近現代東アジアにおける戦争と植民地支配			西村 直登		秋2	
		001	世界の宗教-1 諸宗教の世界観とエートス	2		三宅 威仁 関谷 直人 平岡光太郎 朝香 知己 村上 みか 青木 保憲 森山 央朗 西 直美 大島 智靖 崔 弘徳 住家 正芳	田	春2	世界の宗教-1 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 「世界の宗教-51」をテレビ配信する講義である。
			世界の宗教-51 諸宗教の世界観とエートス			三宅 威仁 関谷 直人 平岡光太郎 朝香 知己 村上 みか 青木 保憲 森山 央朗 西 直美 大島 智靖 崔 弘徳 住家 正芳		今	
		16000251	Intercultural Studies ドイツとEU,日本間の異文化理解	2		穂山 洋子	今	春集中	Intercultural Studies EUキャンパス特別講義 授業は同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する。詳細は『登録要領』の「セメスタープログラム・ドイツ語 I・II」のページを参照。
		001 EUキャンパス特別講義-1 ドイツの歴史・社会と歴史認識	2		穂山 洋子	今	春集中		
		16000252	002 EUキャンパス特別講義-2 機械と話す私たち：チャットから考えるAI時代のコミュニケーション	2		王 婧瑜	海外	春集中	
		16000700	051 Freshman “Go Global” Program-51 ベトナム文化・歴史・経済を「体感」するスタディツアー：SDGsについて考える	2		有井 健 木田 佳男	今	秋集中	科 目 コー ド 16000700 ～ 16000732お よび16000216 ～ 16000217は国際教養コース(LIA)の学生は登録できない。 Freshman Go Global Program 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。
		16000701	Mid-college “Be Strong” Program	4		土井ベンソン アンヤ 村田 晃嗣 八木 匡 根岸 祥子 二村 太郎	今	春集中	
		16000702	001 Introduction to Japanese Culture in the Global Context-1	2		土井ベンソン アンヤ	田	春2	Mid-college Be Strong Program 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。 授業は英語で行われる。先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。
			002 Introduction to Japanese Culture in the Global Context-2			土井ベンソン アンヤ		秋2	
			051 Introduction to Japanese Culture in the Global Context-51	2		土井ベンソン アンヤ	今	春2	
			052 Introduction to Japanese Culture in the Global Context-52			DIAZ SANCHO IVAN		秋2	

科目 区分	配当 年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名 - クラス サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
国 際 教 養 科 目	1~	16000703	001	Introduction to Japanese Society in the Global Context-1	2		ROBERT WILLIAM ASPINALL	田	春2	授業は英語で行われる。 先行登録科目である。 詳細については『登録 要領』を参照。
			051	Introduction to Japanese Society in the Global Context-51			ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	春2	
			052	Introduction to Japanese Society in the Global Context-52			ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	秋2	
		16000704	001	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-1	2		有井 健	田	春2	
			002	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-2			有井 健	今	秋2	
			051	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-51			有井 健	今	春2	
			052	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-52			有井 健	今	秋2	
	2~	16000705	001	Humanities and Global Issues-1	2		土井ベンソン アンヤ	田	秋2	
			051	Humanities and Global Issues-51			土井ベンソン アンヤ	今	春2	
			052	Humanities and Global Issues-52			ESTA TINA OTTMAN	今	秋2	
		16000706		Social Sciences and Global Issues	2		ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	秋2	
	1~	16000707	001	Natural Sciences and Global Issues-1	2		有井 健	田	春2	
			051	Natural Sciences and Global Issues-51			有井 健	今	春2	
		16000708	051	Japan in Modern World History-51	2		IGNACIO ARISTIMUNO	今	春2	
			052	Japan in Modern World History-52			DIAZ SANCHO IVAN	今	秋2	
		16000709	051	International Relations in the Postwar Era-51	2		GARTH WARRIES	今	春2	
			052	International Relations in the Postwar Era-52			GARTH WARRIES	今	秋2	
		16000710	001	Issues in Japanese Culture-1	2		土井ベンソン アンヤ	田	春2	
			051	Issues in Japanese Culture-51			IGNACIO ARISTIMUNO	今	春2	
			052	Issues in Japanese Culture-52			土井ベンソン アンヤ	今	秋2	
		16000711	001	Japanese Thought and Religion I -1	2		IGNACIO ARISTIMUNO	田	春2	
			051	Japanese Thought and Religion I -51			IGNACIO ARISTIMUNO	今	春2	
		16000712	001	Japanese Thought and Religion 2 -1	2		IGNACIO ARISTIMUNO	田	秋2	
			051	Japanese Thought and Religion 2 -51			IGNACIO ARISTIMUNO	今	秋2	
		16000713	001	Tradition and Art in Japan I -1	2		IGNACIO ARISTIMUNO	田	秋2	
			051	Tradition and Art in Japan I -51			IGNACIO ARISTIMUNO	今	秋2	
		16000714	001	Tradition and Art in Japan 2 -1	2		IGNACIO ARISTIMUNO	田	春2	
			051	Tradition and Art in Japan 2 -51			IGNACIO ARISTIMUNO	今	春2	
		16000216	051	Japan Today I -51	2		OMAR YUSEF BAKER	今	春2	
			052	Japan Today I -52			OMAR YUSEF BAKER	今	秋2	
		16000217	051	Japan Today 2 -51	2		OMAR YUSEF BAKER	今	春2	
			052	Japan Today 2 -52			OMAR YUSEF BAKER	今	秋2	
		16000715	001	Democracy and Politics : A Comparative Perspective-1	2		ROBERT WILLIAM ASPINALL	田	秋2	
			051	Democracy and Politics : A Comparative Perspective-51			ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	秋2	
		16000716	001	Education in the Age of Globalization-1	2		ROBERT WILLIAM ASPINALL	田	春2	
			051	Education in the Age of Globalization-51			ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	春2	
		16000717	001	Issues in Intercultural Communication-1	2		ROBERT WILLIAM ASPINALL	田	秋2	
			051	Issues in Intercultural Communication-51			ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	秋2	
		16000718		Economy and Business in the Global Context I	2		森 宏一郎	今	秋2	
		16000719	051	Economy and Business in the Global Context 2 -51	2		森 宏一郎	今	春2	
			052	Economy and Business in the Global Context 2 -52			DANYL MIGDALSKYI	今	秋2	
		16000731		Principles of Economics	2		森 宏一郎	今	春2	
		16000732		Environmental Economics and Sustainability	2		森 宏一郎	今	秋2	
		16000720	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan I -51	2		ESTA TINA OTTMAN	今	春2	
			052	Critical Social Issues in Contemporary Japan I -52			ESTA TINA OTTMAN	今	秋2	
		16000721	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 -51	2		ESTA TINA OTTMAN	今	春2	
			052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 -52			ESTA TINA OTTMAN	今	秋2	
				What Makes Humans Human?	2		休 講			
		16000723	051	The Divisions of Identity in Society-51	2		安武 留美	今	春2	
			052	The Divisions of Identity in Society-52			GARTH WARRIES	今	秋2	
		16000724	001	Statistics for the Social Sciences and Humanities-1	2	DDASH	DANYL MIGDALSKYI	田	春2	
			051	Statistics for the Social Sciences and Humanities-51			MYGDALSKYY VOLODYMYR	今	秋2	
		16000725		Introduction to Computer Science and Information Technology	2		MYGDALSKYY VOLODYMYR	今	春2	
		16000726	001	Human Science in the Global Age-1	2		DANYL MIGDALSKYI	田	春2	
			051	Human Science in the Global Age-51			DANYL MIGDALSKYI	今	春2	
		16000727		Introduction to Quantitative Data Analysis	2		DANYL MIGDALSKYI	今	秋2	
		16000728		Conservation of Japanese Nature and Environment	2		有井 健	今	秋2	
		16000729		Mathematics and its History	2		VILLE JOONAS JOHANNES SJURJAEIN	今	春2	

What Makes Humans Human?
2016年度生の科目である。

17-16年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目先端・複合
領域科目プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分		登録コード		科目名－クラス　サブタイトル	単位	教育プログラム構成科目	担当者	校地	期間時間	備　考
年次	科目コード	クラスコード								
国際 教 養 科 目	1～	16000730		Science of Natural Disasters	2		有井　健	今	春2	Advanced Seminar 1・2・3 選考試験を実施する。 詳細については『登録 要領』を参照。 国際教養コース(ILA)の 学生は登録できない。 授業は英語で行われる。 先行登録科目である。 詳細については『登録 要領』を参照。 京都科目 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 なお、2、52クラスは別途 費用が必要であるため注意 すること。
		16091201	051	Advanced Seminar I－51	2		土井ベンソン　アンヤ	今	春2	
			052	Advanced Seminar I－52			土井ベンソン　アンヤ		秋2	
		16091202	051	Advanced Seminar 2－51	2		ROBERT WILLIAM ASPINALL	今	春2	
			052	Advanced Seminar 2－52			ROBERT WILLIAM ASPINALL		秋2	
		16091203	001	Advanced Seminar 3－1	2		有井　健	田	秋2	
			051	Advanced Seminar 3－51			有井　健	今	春2	
		16607001	001	京都科目－1　京都学概論（京の祭と年中行事）	2		森田　玲	田	秋2	
			051	京都科目－51　京都学概論（京の祭と年中行事）			森田　玲	今	春2	
		16607002	002	京都科目－2　華道から見る京都の伝統文化の発展	2		塩野　敬子	田	春2	
			052	京都科目－52　華道から見る京都の伝統文化の発展			高林　佑丞	今	秋2	
		16607003	003	京都科目－3　現代町家論　京都のまちと暮らしを知る	2		小島富佐江 丹羽　結花 惣司めぐみ	田	春2	
			053	京都科目－53　現代町家論　京都のまちと暮らしを知る			小島富佐江 丹羽　結花 惣司めぐみ	今	秋2	
		16607004	504	京都科目－504　伝統芸能と祭礼	2		北見真智子	インタ	春2	
16607005	055	京都科目－55　京都、関西を中心とした日本の各地域の茶文化	2		佐伯　順子	今	春集中			
16607006	506	京都科目－506　京都文化の本質	2		ハ木　　匡 河村　晴久 中原　桜甫 森田　玲 松山　大耕	インタ	秋2			
2～	16607007	057	京都科目－57　クリエイティブ伝統産業と文化イノベーション	2		北林　功	今	春2		
1～	16607302	501	クールジャパン科目－501　現代日本文化の可能性を探る	2		遠藤　徹	インタ	春2		
2～	16607601	501	クリエイティブ・ジャパン科目－501　創造都市の政策と戦略	2		竹谷多賀子	インタ	秋2		
人 文 科 学 系 科 目	1～	16002334	001	宗教学（1）－1　宗教と倫理	2		谷塚　　巖	田	春2	宗教学（1）・宗教学（2） 文学部哲学科生は必修科目 である。 心理学部生は「同志社科目」 および「宗教学（1）」「宗 教学（2）」より4単位以上修 得しなければならない。 宗教学（1）-52・53・54・55 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 宗教学（2）-52・53・54・55 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 哲学（1）-55 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 哲学（2）-55 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 倫理学（1）-54 法・商・グローバル地域文 化学部生は登録できない。
			002	宗教学（1）－2　宗教と倫理			谷塚　　巖			
			052	宗教学（1）－52　古代教会における教理史			津田　謙治			
			053	宗教学（1）－53　宗教と災禍			伊原木大祐			
			054	宗教学（1）－54　キリスト教の基礎知識			近藤　　剛			
			055	宗教学（1）－55　キリスト教の基礎知識			近藤　　剛			
		16002335	001	宗教学（2）－1　宗教と言語	2		谷塚　　巖	田	秋2	
			002	宗教学（2）－2　宗教と言語			谷塚　　巖			
			052	宗教学（2）－52　キリスト教と哲学			津田　謙治			
			053	宗教学（2）－53　宗教とナラティブ			伊原木大祐			
			054	宗教学（2）－54　宗教と倫理			近藤　　剛			
			055	宗教学（2）－55　宗教と倫理			近藤　　剛			
		16002336	002	哲学（1）－2　哲学者とその時代（古代を中心に）	2		荒木　秀夫	田	春2	
			051	哲学（1）－51　現象学入門			中村　拓也			
			052	哲学（1）－52　哲学の基本概念			秋保　　亘			
			053	哲学（1）－53　現代正義論			藤森　　寛			
			054	哲学（1）－54　哲学者とその時代（古代を中心に）			荒木　秀夫			
			055	哲学（1）－55　哲学入門			沼田　千恵			
		16002337	002	哲学（2）－2　哲学者とその時代（近代を中心に）	2		荒木　秀夫	田	秋2	
			051	哲学（2）－51　科学哲学入門			中村　拓也			
			052	哲学（2）－52　〈自己〉をめぐる哲学			秋保　　亘			
			053	哲学（2）－53　理性的信仰の擁護としてのカント哲学			藤森　　寛			
			054	哲学（2）－54　哲学者とその時代（近代を中心に）			荒木　秀夫			
			055	哲学（2）－55　哲学入門			沼田　千恵			
		16002338	001	倫理学（1）－1　正しいことは人それぞれか？——倫理的相対主義について考える	2		大槻　晃右	田	春2	
			002	倫理学（1）－2　技術の倫理			鬼頭　葉子			
			051	倫理学（1）－51　倫理学入門(I)			中野康次郎			
			052	倫理学（1）－52　道徳哲学入門			岡村　太郎			
053	倫理学（1）－53　18世紀以降のドイツ倫理学説——カントを中心として——		櫻井　真文							
054	倫理学（1）－54　ロボット倫理と動物倫理		松岡健一郎							

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考	
		科目コード	クラスコード									
人 文 科 学 系 科 目	1～	16002339	001	倫理学（２）-1	なぜ道徳的であるべきか？——Why be moral?問題を考える——	2		大槻 晃右	田	秋2	論理的思考の基礎（1） 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。	
			002	倫理学（２）-2	動物倫理			鬼頭 葉子				
			051	倫理学（２）-51	倫理学入門(2)			中野康次郎				
			052	倫理学（２）-52	政治哲学入門			岡村 太郎				
			053	倫理学（２）-53	哲学的平和論——カントの『永遠平和のために』の射程と実効性——			櫻井 真文				
			054	倫理学（２）-54	「笑い」の倫理学			松岡健一郎				
		16002340	001	論理学（１）-1	論理の図像的理解	2		新 茂之	田	春2		
			051	論理学（１）-51	公理的集合論入門			新 茂之				
		16002341	001	論理学（２）-1	集合についての形式的理解	2		新 茂之	田	秋2		
			051	論理学（２）-51	幾何学の基礎			新 茂之				
		16002358	001	論理的思考の基礎（１）-1	日常言語で学ぶ論理的思考	2	DDASH	下嶋 篤	田	春2		
			002	論理的思考の基礎（１）-2	日常言語で学ぶ論理的思考			佐々木 崇				
			003	論理的思考の基礎（１）-3	日常言語で学ぶ論理的思考			野坂 宜正				
			051	論理的思考の基礎（１）-51	日常言語で学ぶ論理的思考			佐々木 崇				
								伊藤 謙佑				
			052	論理的思考の基礎（１）-52	日常言語で学ぶ論理的思考			野坂 宜正				
		16002359	001	論理的思考の基礎（２）-1	論理言語で学ぶ論理的思考	2	DDASH	小川 雄	今	秋2		
			002	論理的思考の基礎（２）-2	論理言語で学ぶ論理的思考			新 茂之				
			003	論理的思考の基礎（２）-3	論理言語で学ぶ論理的思考			大槻 晃右				
			051	論理的思考の基礎（２）-51	論理言語で学ぶ論理的思考			佐々木 崇				
								野坂 宜正				
			052	論理的思考の基礎（２）-52	論理言語で学ぶ論理的思考			下嶋 篤				
		16002360	001	論理的思考の応用（１）-1	論理外要因の認識と統制	2	DDASH	佐々木 崇	田	春2		
			002	論理的思考の応用（１）-2	論理外要因の認識と統制			下嶋 篤				
			051	論理的思考の応用（１）-51	論理外要因の認識と統制			佐々木 崇				
								野坂 宜正				
			052	論理的思考の応用（１）-52	論理外要因の認識と統制			伊藤 謙佑				
		16002361	001	論理的思考の応用（２）-1	論理的コミュニケーションの技術	2	DDASH	野坂 宜正	田	秋2		
			002	論理的思考の応用（２）-2	論理的コミュニケーションの技術			小川 雄				
			051	論理的思考の応用（２）-51	論理的コミュニケーションの技術			大槻 晃右				
								伊藤 謙佑				
			052	論理的思考の応用（２）-52	論理的コミュニケーションの技術			野坂 宜正				
		16002344	001	芸術学（１）-1	近現代日本の視覚文化	2		前川 志織	田	春2		
			002	芸術学（１）-2	日本のグラフィック・デザイン史			熊倉 一紗				
			051	芸術学（１）-51	「芸術」とは何か？			立野 良介				
			052	芸術学（１）-52	芸術作品における美の多様性を楽しみましょうー古代エジプト、ギリシアから現代までー			土肥 泰子				
			053	芸術学（１）-53	ロマン主義と芸術			今				村上 真樹
			054	芸術学（１）-54	キリスト教図像学							嶋谷 昭彦
			058	芸術学（１）-58	「音楽作品」概念の歴史							船木 理悠
			001	芸術学（２）-1	古典文学の絵画							村木 桂子
		16002345	002	芸術学（２）-2	世紀末ウィーンの芸術：グスタフ・クリムトとウィーン分離派	2		前田 朋美	田	秋2		
			051	芸術学（２）-51	芸術作品を通して人間存在についての探求			今村美邦子				
			052	芸術学（２）-52	芸術作品を通して人間存在についての探求			今村美邦子				
			054	芸術学（２）-54	近代の芸術と芸術理論			立野 良介				
			055	芸術学（２）-55	西洋美術における古代ギリシア・ローマ文化の位置づけ			小松原 郁				
			056	芸術学（２）-56	西洋美術と美的仮象の歴史			高藤 大樹				

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間先端・複合
領域科目プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
		科目コード	クラスコード								
人 文 科 学 系 科 目	1～	16002346	001	日本史（Ⅰ）-1	日本列島における古代国家形成	2		若林 邦彦	田	春2	日本史(Ⅰ)・日本史(Ⅱ) 文学部文化史学科生は登録 することが望ましい。
			002	日本史（Ⅰ）-2	江戸時代の身分社会～近年解明されてきたことを中心に～			小林ひろみ			
			051	日本史（Ⅰ）-51	社会と教済			小林 丈広			
			052	日本史（Ⅰ）-52	中近世における国家権力と宗教			前田 一郎			
			053	日本史（Ⅰ）-53	中世の戦乱と秩序			山本 晋平			
			054	日本史（Ⅰ）-54	武士と武家政権の成立・展開（Ⅰ）			勅使河原拓也			
			055	日本史（Ⅰ）-55	日本古代の宗教文化			松本 公一			
			056	日本史（Ⅰ）-56	近世・近代の日本思想史			小田 龍哉			
			057	日本史（Ⅰ）-57	日本古代の祭祀と法（Ⅰ）			久禮 旦雄			
			058	日本史（Ⅰ）-58	日本列島における古代国家形成			若林 邦彦			
			059	日本史（Ⅰ）-59	医史学からのアプローチ～共同体としての思想～			近藤 裕樹			
			060	日本史（Ⅰ）-60	天皇の親子関係の歴史			岩田真由子			
			061	日本史（Ⅰ）-61	近代京都の歴史			川口 朋子			
		16002347	001	日本史（Ⅱ）-1	同志社前史	2		浜中 邦弘	田	秋2	日本史(Ⅱ)-58 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。
			002	日本史（Ⅱ）-2	大正期の社会と思想・文化思潮			久野譲太郎			
			051	日本史（Ⅱ）-51	博覧会をめぐって			小林 丈広			
			052	日本史（Ⅱ）-52	近世における国家権力と宗教			前田 一郎			
			053	日本史（Ⅱ）-53	近世初頭の政治権力と思想			山本 晋平			
			054	日本史（Ⅱ）-54	武士と武家政権の成立・展開（Ⅱ）			勅使河原拓也			
			055	日本史（Ⅱ）-55	日本中世・近世の宗教文化			松本 公一			
			056	日本史（Ⅱ）-56	「列島」の戦後日本文化史			小田 龍哉			
			057	日本史（Ⅱ）-57	日本古代の祭祀と法（Ⅱ）			久禮 旦雄			
			058	日本史（Ⅱ）-58	同志社前史			浜中 邦弘			
			059	日本史（Ⅱ）-59	医史学からのアプローチ～個人としての思想～			近藤 裕樹			
			060	日本史（Ⅱ）-60	日本の家族史・ライフサイクルの歴史			岩田真由子			
			061	日本史（Ⅱ）-61	資料で読む戦後日本のあゆみ			川口 朋子			
		16002348	001	東洋史（Ⅰ）-1	伝統中国社会の多面的な構造を理解する	2		細井 和彦	田	春2	東洋史(Ⅰ)・東洋史(Ⅱ) 文学部文化史学科生は登録 することが望ましい。
			051	東洋史（Ⅰ）-51	「海域アジア（史）」から見るアジア史			富田 暁			
			052	東洋史（Ⅰ）-52	中国近現代史理解のための基礎知識Ⅰ			荻 恵里子			
		16002349	001	東洋史（Ⅱ）-1	中国近代社会にとって「近代化」とは何か？	2		細井 和彦	田	秋2	
			051	東洋史（Ⅱ）-51	「海域アジア史」から見るアジア史			富田 暁			
			052	東洋史（Ⅱ）-52	中国近現代史理解のための基礎知識Ⅱ			荻 恵里子			
		16002350	001	西洋史（Ⅰ）-1	ヨーロッパ近代史	2		河合 竜太	田	春2	西洋史(Ⅰ)・西洋史(Ⅱ) 文学部文化史学科生は登録 することが望ましい。 西洋史(Ⅰ)-51 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。
			051	西洋史（Ⅰ）-51	「食べ物」から見る世界史			宮下 敬志			
			052	西洋史（Ⅰ）-52	オリエント学から見た西洋古代史			藤井 信之			
			053	西洋史（Ⅰ）-53	ナショナリズムと国民形成から見た近代ドイツ史			吉門 昌宏			
		16002351	001	西洋史（Ⅱ）-1	古代ローマ都市文明の様相ーポンペイ遺跡の事例を中心にー	2		坂井 聡	田	秋2	西洋史(Ⅱ)-52 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。
			051	西洋史（Ⅱ）-51	近現代イギリス史			大谷 誠			
			052	西洋史（Ⅱ）-52	文化史からみた近代ヨーロッパ			河合 竜太			
			053	西洋史（Ⅱ）-53	西洋中世における知と社会			梶原 洋一			
		16002352	001	考古学（Ⅰ）-1	出土陶磁器にみる日本と世界	2		角谷江津子	田	春2	考古学(Ⅰ)-51・52 法・商・グローバル地域文 化学部生は登録できない。 考古学(Ⅰ)-53 社会・経済・政策学部生は 登録できない。
			002	考古学（Ⅰ）-2	考古学の方法と弥生～古墳時代の社会			若林 邦彦			
			051	考古学（Ⅰ）-51	装身具の考古学			廣瀬 時習			
			052	考古学（Ⅰ）-52	瓦・寺院・藤原摂関家			浜中 邦弘			
			053	考古学（Ⅰ）-53	埴輪の考古学			辻川 哲朗			
			054	考古学（Ⅰ）-54	日本古代鉄鈹の考古学			大道 和人			
		16002353	001	考古学（Ⅱ）-1	平安時代を主に	2		浜中 邦弘	田	秋2	考古学(Ⅱ)-51 社会・経済・政策学部生は 登録できない。 考古学(Ⅱ)-53 法・商・グローバル地域文 化学部生は登録できない。
			002	考古学（Ⅱ）-2	平安時代を主に			浜中 邦弘			
			051	考古学（Ⅱ）-51	考古学と地域史ー明石市の場合ー			稲原 昭嘉			
			052	考古学（Ⅱ）-52	弥生～古墳時代の社会			若林 邦彦			
			053	考古学（Ⅱ）-53	遺跡はなぜ大切か			佐古 和枝			
			054	考古学（Ⅱ）-54	弥生～古墳時代の社会			若林 邦彦			
			055	考古学（Ⅱ）-55	考古学を楽しもう			中川 和哉			
		16002354	001	日本語（Ⅰ）-1	身近な言語事象から考える日本語	2		梶原 雄	田	春2	日本語(Ⅰ)・日本語(Ⅱ) 文学部国文学科生は登録す ることが望ましい。 日本語(Ⅰ)-51 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。
			002	日本語（Ⅰ）-2	身近な言語事象から考える日本語			梶原 雄			
			051	日本語（Ⅰ）-51	身近な言語事象から考える日本語			梶原 雄			

科目区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
		科目コード	クラスコード								
人 文 学 系 科 目	1～	16002355	001	日本語（2）-1	人と社会をつなぐ日本語	2		梶原 雄	田	秋2	日本語(2)-51 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 日本文学(1)・日本文学(2) 文学部国文学科生は登録することが望ましい。
			002	日本語（2）-2	人と社会をつなぐ日本語			梶原 雄			
			051	日本語（2）-51	人と社会をつなぐ日本語			梶原 雄			
		16002356	001	日本文学（1）-1	明治・大正の流行小説を読む（1）	2		坂崎 恭平	田	春2	
			051	日本文学（1）-51	戦争（いくさ）と文学			城阪 蒼紀			
		16002357	001	日本文学（2）-1	明治・大正の流行小説を読む（2）	2		坂崎 恭平	田	秋2	
			051	日本文学（2）-51	中世文学から読み解く、社会と身体			城阪 蒼紀			
		16000304		ドイツ文学	ドイツ幻想文学	2		石田 喜敬	今	春2	
		16000305		フランス文学	バルザック作品におけるオペラの表象	2		山崎 恭宏	今	秋2	
		16000306		中国文学	白話小説の世界	2		木津 祐子	今	春2	
		16000307		スペイン文学	中世から現代におけるまで	2		DIAZ SANCHO IVAN	田	秋2	
		16000308		ラテンアメリカ文学	現代ラテンアメリカ文学	2		立林 良一	田	春2	
		16000309		ロシア文学	現代文化の中のロシア文学	2		中野 幸男	今	秋2	
		16000310		コリア文学	韓国近現代短編小説を読む	2		魯 恵英	今	春2	
社 会 学 系 科 目	1～	16003402	001	法学Ⅰ-1	刑事法と民法を中心に	2		竹村 和也	田	春2	法学Ⅰ・法学Ⅱ 政策学部生は登録できない。 法学部の卒業必要単位数には含まれない。 法学Ⅰ-52 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 政治学Ⅰ・政治学Ⅱ 政策学部生は登録できない。 法学部の卒業必要単位数には含まれない。 経済学Ⅰ・経済学Ⅱ 社会学部産業関係学科生・政策学部生は登録できない。 商学部生は登録することが望ましい。 経済学部生は登録することが望ましい。 商学 商学部生は登録できない。
			051	法学Ⅰ-51	刑事法と民法を中心に			竹村 和也			
			052	法学Ⅰ-52	社会に生きる法			岡村暢一郎			
			053	法学Ⅰ-53	民法法を中心とした法学入門			渡邊 貴			
		16003403	011	法学Ⅱ-11	日本国憲法を中心にして	2		竹村 和也	田	秋2	
			061	法学Ⅱ-61	法学の入門			木下 慎梧			
			062	法学Ⅱ-62	マイノリティと法			松岡 千紘			
			063	法学Ⅱ-63	人生と税法			山本 尚平			
		16003400	001	政治学Ⅰ-1	国際政治入門	2		中西 友汰	田	春2	
			051	政治学Ⅰ-51	政治学と公共政策			山内 富美			
			052	政治学Ⅰ-52	西洋政治思想入門			和田 昌也			
			053	政治学Ⅰ-53	統治・正義・参加			廣瀬 有哉			
			054	政治学Ⅰ-54	統治・正義・参加			廣瀬 有哉			
			055	政治学Ⅰ-55	政治と社会問題			大村 一真			
			056	政治学Ⅰ-56	政治学の基礎と公共政策－政治的事柄の再考－			早瀬 善彦			
		16003401	011	政治学Ⅱ-11	近現代日本の地方自治史	2		呉 舒平	今	秋2	
			061	政治学Ⅱ-61	外国人政策			高田 和磨			
			062	政治学Ⅱ-62	現代政治理論			廣瀬 有哉			
			063	政治学Ⅱ-63	現代政治理論			和田 昌也			
			064	政治学Ⅱ-64	現代政治理論			和田 昌也			
			065	政治学Ⅱ-65	西洋／非西洋の政治思想の視点から			和田 昌也			
			066	政治学Ⅱ-66	近代日本政治の展開			大村 一真			
		16004400	001	経済学Ⅰ-1	ミクロ経済学の基礎	2		小田 勇一	田	秋2	
			051	経済学Ⅰ-51	ミクロ経済学入門			小田 勇一			
			052	経済学Ⅰ-52	ミクロ経済学入門			小田 勇一			
		16004401	001	経済学Ⅱ-1	マクロ経済学の基礎	2		小田 勇一	田	春2	
			051	経済学Ⅱ-51	マクロ経済学入門			新居 理有			
			052	経済学Ⅱ-52	マクロ経済学入門			新居 理有			
		16005400	001	商学-1	現代企業と事業システム	2		加藤 康	田	春2	
			002	商学-2	商学と経営学（経営管理）と組織変革について考える			松田 陽一		秋2	
			051	商学-51	国際商取引の実務			花木 正孝		春2	
			052	商学-52	取引の学としての商学原論			藤田 和孝		秋2	
自然・人間科学系科目	1～	16008400	001	データサイエンス概論-1	デジタル社会の“論語と算盤”	2	DDASH	宿久 洋 瀬領 真悟 野々村和喜 土屋 誠司 岡部 格明	インタ	春2	
			002	データサイエンス概論-2	デジタル社会の“論語と算盤”			宿久 洋 瀬領 真悟 野々村和喜 土屋 誠司 岡部 格明		秋2	

17-16年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目先端・複合
領域科目プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
		科目コード	クラスコード							
自然・人間科学系科目	1～	16008503	001	データサイエンス基礎-1 現代社会の共通言語	2	DDASH	宿久 洋 岡部 格明	田	春2	データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 AI基礎 履修には「データサイエ ンス概論」の単位修得が必要 である。
			002	データサイエンス基礎-2 現代社会の共通言語			宿久 洋 岡部 格明		秋2	
			051	データサイエンス基礎-51 現代社会の共通言語			宿久 洋 岡部 格明	今	春2	
			052	データサイエンス基礎-52 現代社会の共通言語			宿久 洋 岡部 格明	秋2		
	16008504	001	データエンジニアリング基礎-1 現代社会の共通言語	2	DDASH	波多野賢治	田	春2	データサイエンス1-4 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。	
		002	データエンジニアリング基礎-2 現代社会の共通言語			波多野賢治		秋2		
		051	データエンジニアリング基礎-51 現代社会の共通言語			波多野賢治	今	春2		
		052	データエンジニアリング基礎-52 現代社会の共通言語			波多野賢治	秋2			
	16008505	001	A I 基礎-1 現代社会の共通言語	2	DDASH	土屋 誠司	田	春2		データサイエンス2-4・51・54 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。
		002	A I 基礎-2 現代社会の共通言語			土屋 誠司		秋2		
		051	A I 基礎-51 現代社会の共通言語			土屋 誠司	今	春2		
		052	A I 基礎-52 現代社会の共通言語			土屋 誠司	秋2			
	16008500	001	データサイエンス1-1 教養としての統計入門	2	DDASH	土田 潤	田	春2	データサイエンス2-4・51・54 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。	
		002	データサイエンス1-2 統計学の入口			竹野 倫彰				
		003	データサイエンス1-3 ヒトを対象とした科学的研究における測定法と統計学入門			紀ノ定保礼				
		004	データサイエンス1-4 社会と統計リテラシー			大森 崇				
		005	データサイエンス1-5 統計学の初歩			竹野 倫彰	インタ	秋2		
		006	データサイエンス1-6 統計学入門			藤井 孝之				
		007	データサイエンス1-7 AIの実務活用入門			小林 史弥				
		051	データサイエンス1-51 教養としての統計学入門			阿部 貴行				
		052	データサイエンス1-52 データサイエンス入門			山田 隆行				
	053	データサイエンス1-53 データサイエンス入門	原 尚幸	今	春2					
	16008501	001	データサイエンス2-1 Rを用いたデータ分析	2	DDASH	藤井 孝之	インタ	春2		データサイエンス2-4・51・54 先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。
		002	データサイエンス2-2 ヒトを対象とした科学的研究における統計モデリング			紀ノ定保礼	田	秋2		
		003	データサイエンス2-3 メディアデータをチェックする統計解析			濱田 悦生				
		004	データサイエンス2-4 統計的推測の基礎			大森 崇				
		051	データサイエンス2-51 社会調査のすすめ			堀 兼大朗			今	
		052	データサイエンス2-52 データ分析入門			阿部 貴行	秋2			
		053	データサイエンス2-53 統計と人工知能入門			原 尚幸				
		054	データサイエンス2-54 Rを用いた統計解析			山田 隆行				
	16016710	001	サイバーセキュリティ入門-1 「プラス・セキュリティ」人材養成講座	2	DDASH	土屋 誠司 木村 共孝 三浦 崇	インタ	春2	サイバーセキュリティ入門 2017年度以降生の科目で ある。先行登録科目である。詳細に については『登録要領』を参照。	
		002	サイバーセキュリティ入門-2 「プラス・セキュリティ」人材養成講座			土屋 誠司 木村 共孝 三浦 崇		秋2		
	16016700	001	数学-1 数学入門	2	DDASH	木村 和広	田	春2	数学 「数学1」または「数学2」の 単位を修得済の場合、登録 できない。 理工学部数理システム学科 の卒業必要単位数には含ま れない。	
		002	数学-2 線形代数入門			塩田隆比呂				
		003	数学-3 個数計算の方法			高尾 尚武				
		004	数学-4 文明のゆりかご期の「算術」から現代数学へ			磯 祐介				
		005	数学-5 個数計算の方法			高尾 尚武		秋2		
		006	数学-6 数学と理工学			大川 領				
		007	数学-7 微分積分の初歩			高尾 尚武				
		051	数学-51 線形代数			朝田 衛	今	春2		
052		数学-52 確率の基礎と応用	藤田 成隆							
054		数学-54 整数の初歩及び平行線の公理	朝田 衛							
055		数学-55 確率の基礎と応用	藤田 成隆							
056		数学-56 数学とコンピュータ	藤田 成隆			秋2				
059		数学-59 数学とコンピュータ	藤田 成隆							

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
		科目コード	クラスコード								
自然・人間科学系科目	1～	16016701	001	物理学-1	概説及び入門	2		喜綿 洋人	田	春2	物理学 「物質の科学1」または「物質の科学2」の単位を修得済の場合、登録できない。

17-16年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

同志社科目	キャリア形成 支援科目
国際教養科目	人文科学系科目
社会科学系科目	自然・人間 科学系科目
先端・複合 領域科目	プロジェクト 科目
外国語教育科目	保健体育科目

※科目区分「自然・人間科学系科目」は、DUET 上では「自然科学系科目」と表示されます。（「心理学Ⅰ・Ⅱ」を除く）

科目区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
		科目コード	クラスコード								
自然・人間科学系科目	1～	16017500	001	心理学Ⅰ-1	学んで活かす心理学	2		小野由莉花	田	春2	心理学Ⅰ-51・52・53・54・55・56 先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を参照。
			002	心理学Ⅰ-2	心理学とはどんな学問か			水野 邦夫			
			003	心理学Ⅰ-3	人間の理解のための心理学			森岡 陽介			
			004	心理学Ⅰ-4	精神活動と行動の原理を知る			余語 真夫			
			051	心理学Ⅰ-51	自己理解の心理学			稲垣 勉			
			052	心理学Ⅰ-52	精神活動と行動の原理を知る			余語 真夫	今		
			053	心理学Ⅰ-53	「こころ」の科学			谷口 康祐			
			054	心理学Ⅰ-54	心理学入門Ⅰ			池本真知子			
			055	心理学Ⅰ-55	心理学入門Ⅰ			池本真知子			
			056	心理学Ⅰ-56	心と行動の科学			敦賀麻理子			
	16017501	001	心理学2-1	人間理解のための心理学	2		木村 晴	田	秋2		
		002	心理学2-2	人間理解の方法			水野 邦夫				
		003	心理学2-3	社会生活における心理学			森岡 陽介				
		004	心理学2-4	社会における心理学			余語 真夫				
		051	心理学2-51	心理学入門2			稲垣 勉			今	
		052	心理学2-52	社会における心理学			余語 真夫				
		053	心理学2-53	「こころ」の問題との関連			谷口 康祐				
		054	心理学2-54	心理学入門2			池本真知子				
		055	心理学2-55	心理学入門2			池本真知子				
		056	心理学2-56	人間理解のための心理学			敦賀麻理子				
先端複合領域科目	1～			先端領域科目Ⅰ	2		休 講				
				先端領域科目2	2		休 講				
				複合領域科目Ⅰ	2		休 講				
				複合領域科目2	2		休 講				
プロジェクト科目	2～			プロジェクト科目Ⅰ	2		休 講				
				プロジェクト科目2	2		休 講				
外国語教育科目	1～	16501013	※※※	コミュニケーション・イングリッシュⅠ	1						サマープログラム・英語A サマープログラム・英語B 再修生で9月卒業予定者は登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。
		16501014	※※※	コミュニケーション・イングリッシュ2	1						
		16501023	※※※	アナリティカル・リーディングⅠ	1						
		16501024	※※※	アナリティカル・リーディング2	1						
	2～	16501031	※※※	イングリッシュ・セミナーⅠ	1						
		16501032	※※※	イングリッシュ・セミナー2	1						
				イングリッシュ・セミナー3	2		休 講				
		16501041	※※※	イングリッシュ・ワークショップⅠ	1						
		16501042	※※※	イングリッシュ・ワークショップ2	1						
				イングリッシュ・ワークショップ3	2		休 講				
				アカデミック・イングリッシュA	2		休 講				
				アカデミック・イングリッシュB	2		休 講				
	1・2			プロフェッショナル・イングリッシュA	2		休 講				
				プロフェッショナル・イングリッシュB	2		休 講				
				プレ・イングリッシュ・プラクティクム	4		休 講				
				イングリッシュ・プラクティクムⅠ	4		休 講				
	3～			イングリッシュ・プラクティクム2	4		休 講				
		16501081	※※※	言語文化研究Ⅰ	2						
		16501082	※※※	言語文化研究2	2						
		16501051	※※※	現代地域事情・上級講読（英語圏）Ⅰ	2						
16501052		※※※	現代地域事情・上級講読（英語圏）2	2							
1～	16509001	※※※	サマープログラム・英語A	4				春集中	サマープログラム・英語A サマープログラム・英語B 再修生で9月卒業予定者は登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。		
	16509002	※※※	サマープログラム・英語B	3				春集中			
			サマープログラム・英語C	2		休 講					
2～			スプリングプログラム・英語A	4							
			スプリングプログラム・英語B	3							
			スプリングプログラム・英語C	2							
			スプリングプログラム・英語D	1		休 講					

※「心理学Ⅰ・Ⅱ」の科目区分「自然・人間科学系科目」は、DUET上では「人間科学系科目（保健体育科目以外）」と表示されます。

科目区分	配当年次	登録コード		科目名－クラス サブタイトル	単位	教育プログラム構成科目	担当者	校地	期間時間	備 考
		科目コード	クラスコード							
同志社科目	2～	16509081	※※※	セメスタープログラム・英語Ⅰ	4				秋集中	セメスタープログラム・英語Ⅰ セメスタープログラム・英語Ⅱ 詳細は『登録要領』を参照。
		16509082	※※※	セメスタープログラム・英語Ⅱ	4				秋集中	
キャリア形成 支援科目	1～			Intensive Courses for TOEFL(Practice)	1		休 講			
				Intensive Courses for TOEFL(Tutorial)	1		休 講			
		16501181	※※※	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1	2					
		16501182	※※※	Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2	2					
		16501191	※※※	Study Abroad Preparation (IELTS) 1	2					
		16501192	※※※	Study Abroad Preparation (IELTS) 2	2					
国際教養科目	1～	16502011	※※※	ドイツ語入門Ⅰ	2					
		16502012	※※※	ドイツ語入門Ⅱ	2					
	2～	16502031	※※※	ドイツ語応用Ⅰ	1					
		16502032	※※※	ドイツ語応用Ⅱ	1					
人文科学系科目	1～	16502033	※※※	ドイツ語応用Ⅲ	1					
		16502034	※※※	ドイツ語応用Ⅳ	1					
	2～	16502021	※※※	ドイツ語インテンシヴⅠ	3					
		16502022	※※※	ドイツ語インテンシヴⅡ	3					
社会科学系科目	1～	16502023	※※※	ドイツ語インテンシヴⅢ	3					
		16502024	※※※	ドイツ語インテンシヴⅣ	3					
	2～	16502025	※※※	ドイツ語インテンシヴⅤ	2					
		16502026	※※※	ドイツ語インテンシヴⅥ	2					
自然・人間 科学系科目	1～	16502051	※※※	ドイツ語文化事情Ⅰ	2					
		16502052	※※※	ドイツ語文化事情Ⅱ	2					
	2～	16502061	※※※	ドイツ語表現Ⅰ	2					
		16502062	※※※	ドイツ語表現Ⅱ	2					
先端・複合 領域科目	1～	16502071	※※※	言語文化原典演習（ドイツ語）Ⅰ	2					
		16502072	※※※	言語文化原典演習（ドイツ語）Ⅱ	2					
	2～	16502081	※※※	現代地域事情・上級講読（ドイツ語圏）Ⅰ	2					
		16502082	※※※	現代地域事情・上級講読（ドイツ語圏）Ⅱ	2					
プロジェクト 科目	1～			サマープログラム・ドイツ語A	4		休 講			
		16502093		サマープログラム・ドイツ語B	3				春集中	
	2～			スプリングプログラム・ドイツ語	3					
		16502101		セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ	4				春集中	
外国語教育科目	1～	16502102		セメスタープログラム・ドイツ語Ⅱ	4				春集中	セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ セメスタープログラム・ドイツ語Ⅱ 授業は同志社大学テュービンゲンEUキャンパスで実施する。 詳細は『登録要領』を参照。
		16502041	※※※	ドイツ語会話初級Ⅰ	1					
	2～	16502042	※※※	ドイツ語会話初級Ⅱ	1					
		16502043	※※※	ドイツ語会話中級Ⅰ	1					
保健体育科目	1～	16502044	※※※	ドイツ語会話中級Ⅱ	1					
		16502045	※※※	ドイツ語会話上級Ⅰ	1					
	2～	16502046	※※※	ドイツ語会話上級Ⅱ	1					
		16503011	※※※	フランス語入門Ⅰ	2					
外国語教育科目	1～	16503012	※※※	フランス語入門Ⅱ	2					
		16503031	※※※	フランス語応用Ⅰ	1					
	2～	16503032	※※※	フランス語応用Ⅱ	1					
		16503033	※※※	フランス語応用Ⅲ	1					
保健体育科目	1～	16503034	※※※	フランス語応用Ⅳ	1					
		16503021	※※※	フランス語インテンシヴⅠ	3					
	2～	16503022	※※※	フランス語インテンシヴⅡ	3					
		16503023	※※※	フランス語インテンシヴⅢ	3					
保健体育科目	1～	16503024	※※※	フランス語インテンシヴⅣ	3					
		16503025	※※※	フランス語インテンシヴⅤ	2					
	2～	16503026	※※※	フランス語インテンシヴⅥ	2					
		16503027	※※※	フランス語インテンシヴⅦ	2					
保健体育科目	3～	16503028	※※※	フランス語インテンシヴⅧ	2					

科目 区分	配当 年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名 - クラス サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
外国語 教育 科目	3~	16503051	※※※	フランス語文化事情Ⅰ	2					サマープログラム・フランス語 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。
		16503052	※※※	フランス語文化事情Ⅱ	2					
		16503061	※※※	フランス語表現Ⅰ	2					
		16503062	※※※	フランス語表現Ⅱ	2					
		16503071	※※※	言語文化原典演習（フランス語）Ⅰ	2					
		16503072	※※※	言語文化原典演習（フランス語）Ⅱ	2					
		16503081	※※※	現代地域事情・上級講読（フランス語圏）Ⅰ	2					
		16503082	※※※	現代地域事情・上級講読（フランス語圏）Ⅱ	2					
	2~	16503091		サマープログラム・フランス語	4				春集中	
	2~			スプリングプログラム・フランス語	3					
	1~	16503041	※※※	フランス語会話初級Ⅰ	1					
		16503042	※※※	フランス語会話初級Ⅱ	1					
		16503043	※※※	フランス語会話中級Ⅰ	1					
		16503044	※※※	フランス語会話中級Ⅱ	1					
		16503045	※※※	フランス語会話上級Ⅰ	1					
		16503046	※※※	フランス語会話上級Ⅱ	1					
	1~	16504011	※※※	中国語入門Ⅰ	2					
		16504012	※※※	中国語入門Ⅱ	2					
	2~	16504031	※※※	中国語応用Ⅰ	1					
		16504032	※※※	中国語応用Ⅱ	1					
		16504033	※※※	中国語応用Ⅲ	1					
		16504034	※※※	中国語応用Ⅳ	1					
	1~	16504021	※※※	中国語インテンシヴⅠ	3					
		16504022	※※※	中国語インテンシヴⅡ	3					
	2~	16504023	※※※	中国語インテンシヴⅢ	3					
		16504024	※※※	中国語インテンシヴⅣ	3					
	3~	16504025	※※※	中国語インテンシヴⅤ	2					
		16504026	※※※	中国語インテンシヴⅥ	2					
	4	16504027	※※※	中国語インテンシヴⅦ	2					
		16504028	※※※	中国語インテンシヴⅧ	2					
	3~	16504051	※※※	中国語文化事情Ⅰ	2					
		16504052	※※※	中国語文化事情Ⅱ	2					
		16504061	※※※	中国語表現Ⅰ	2					
		16504062	※※※	中国語表現Ⅱ	2					
		16504071	※※※	言語文化原典演習（中国語）Ⅰ	2					
		16504072	※※※	言語文化原典演習（中国語）Ⅱ	2					
		16504081	※※※	現代地域事情・上級講読（中国語圏）Ⅰ	2					
		16504082	※※※	現代地域事情・上級講読（中国語圏）Ⅱ	2					
	2~			サマープログラム・中国語	4		休 講			
	2~			スプリングプログラム・中国語	1					
	2~	16504041	※※※	中国語会話初級Ⅰ	1					
		16504042	※※※	中国語会話初級Ⅱ	1					
		16504043	※※※	中国語会話中級Ⅰ	1					
		16504044	※※※	中国語会話中級Ⅱ	1					
		16504045	※※※	中国語会話上級Ⅰ	1					
		16504046	※※※	中国語会話上級Ⅱ	1					
	1~	16505011	※※※	スペイン語入門Ⅰ	2					
		16505012	※※※	スペイン語入門Ⅱ	2					
	2~	16505031	※※※	スペイン語応用Ⅰ	1					
		16505032	※※※	スペイン語応用Ⅱ	1					
		16505033	※※※	スペイン語応用Ⅲ	1					
		16505034	※※※	スペイン語応用Ⅳ	1					
	1~	16505021	※※※	スペイン語インテンシヴⅠ	3					
		16505022	※※※	スペイン語インテンシヴⅡ	3					
	2~	16505023	※※※	スペイン語インテンシヴⅢ	3					
		16505024	※※※	スペイン語インテンシヴⅣ	3					

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名－クラス サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考	
		科目コード	クラスコード								
外国語 教育 科目	3～	16505025	※※※	スペイン語インテンシヴⅤ	2					サマープログラム・スペイン語 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。	
		16505026	※※※	スペイン語インテンシヴⅥ	2						
		16505051	※※※	スペイン語文化事情Ⅰ	2						
		16505052	※※※	スペイン語文化事情Ⅱ	2						
		16505061	※※※	スペイン語表現法Ⅰ	2						
		16505062	※※※	スペイン語表現法Ⅱ	2						
		16505071	※※※	言語文化原典演習（スペイン語）Ⅰ	2						
		16505072	※※※	言語文化原典演習（スペイン語）Ⅱ	2						
		16505081	※※※	現代地域事情・上級講読（スペイン語圏）Ⅰ	2						
		16505082	※※※	現代地域事情・上級講読（スペイン語圏）Ⅱ	2						
	2～	16505091		サマープログラム・スペイン語	4				春集中		
	2～			スプリングプログラム・スペイン語	1		休 講				
				スプリングプログラム・スペイン語C	2		休 講				
	1～	16505041	※※※	スペイン語会話初級Ⅰ	1						
		16505042	※※※	スペイン語会話初級Ⅱ	1						
		16505043	※※※	スペイン語会話中級Ⅰ	1						
		16505044	※※※	スペイン語会話中級Ⅱ	1						
		16505045	※※※	スペイン語会話上級Ⅰ	1						
		16505046	※※※	スペイン語会話上級Ⅱ	1						
	1～	16506011	※※※	ロシア語入門Ⅰ	2						
		16506012	※※※	ロシア語入門Ⅱ	2						
	2～	16506031	※※※	ロシア語応用Ⅰ	1						
		16506032	※※※	ロシア語応用Ⅱ	1						
		16506033	※※※	ロシア語応用Ⅲ	1						
		16506034	※※※	ロシア語応用Ⅳ	1						
	1～	16506021	※※※	ロシア語インテンシヴⅠ	3						
		16506022	※※※	ロシア語インテンシヴⅡ	3						
	2～	16506023	※※※	ロシア語インテンシヴⅢ	3						
		16506024	※※※	ロシア語インテンシヴⅣ	3						
	3～	16506051	※※※	ロシア語文化事情Ⅰ	2						
		16506052	※※※	ロシア語文化事情Ⅱ	2						
		16506061	※※※	ロシア語表現法Ⅰ	2						
		16506062	※※※	ロシア語表現法Ⅱ	2						
		16506071	※※※	言語文化原典演習（ロシア語）Ⅰ	2						
		16506072	※※※	言語文化原典演習（ロシア語）Ⅱ	2						
		16506081	※※※	現代地域事情・上級講読（ロシア語圏）Ⅰ	2						
		16506082	※※※	現代地域事情・上級講読（ロシア語圏）Ⅱ	2						
	2～			サマープログラム・ロシア語	4		休 講				
	1～	16506041	※※※	ロシア語会話初級Ⅰ	1						
		16506042	※※※	ロシア語会話初級Ⅱ	1						
16506043		※※※	ロシア語会話中級Ⅰ	1							
16506044		※※※	ロシア語会話中級Ⅱ	1							
16506045		※※※	ロシア語会話上級Ⅰ	1							
16506046		※※※	ロシア語会話上級Ⅱ	1							
1～	16507011	※※※	ロシア語入門Ⅰ	2							
	16507012	※※※	ロシア語入門Ⅱ	2							
2～	16507031	※※※	ロシア語応用Ⅰ	1							
	16507032	※※※	ロシア語応用Ⅱ	1							
	16507033	※※※	ロシア語応用Ⅲ	1							
	16507034	※※※	ロシア語応用Ⅳ	1							
1～	16507021	※※※	ロシア語インテンシヴⅠ	3							
	16507022	※※※	ロシア語インテンシヴⅡ	3							
2～	16507023	※※※	ロシア語インテンシヴⅢ	3							
	16507024	※※※	ロシア語インテンシヴⅣ	3							

科目 区分	配当 年次	登録コード		科目名・クラス サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
		科目コード	クラスコード							
外国語 教育 科目	3~	16507025	※※※	コリア語インテンシヴⅤ	2					
		16507026	※※※	コリア語インテンシヴⅥ	2					
		16507051	※※※	コリア語文化事情Ⅰ	2					
		16507052	※※※	コリア語文化事情Ⅱ	2					
		16507061	※※※	コリア語表現法Ⅰ	2					
		16507062	※※※	コリア語表現法Ⅱ	2					
		16507071	※※※	言語文化原典演習（コリア語）Ⅰ	2					
		16507072	※※※	言語文化原典演習（コリア語）Ⅱ	2					
		16507081	※※※	現代地域事情・上級講読（コリア語圏）Ⅰ	2					
		16507082	※※※	現代地域事情・上級講読（コリア語圏）Ⅱ	2					
	2~	16507091		サマープログラム・コリア語	3				春集中	サマープログラム・コリア語 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。
	2~			スプリングプログラム・コリア語	3					
	1~	16507041	※※※	コリア語会話初級Ⅰ	1					
		16507042	※※※	コリア語会話初級Ⅱ	1					
		16507043	※※※	コリア語会話中級Ⅰ	1					
		16507044	※※※	コリア語会話中級Ⅱ	1					
		16507045	※※※	コリア語会話上級Ⅰ	1					
		16507046	※※※	コリア語会話上級Ⅱ	1					
	2~	16508001	※※※	基礎イタリア語Ⅰ	1					
		16508002	※※※	基礎イタリア語Ⅱ	1					
	3~	16508003	※※※	基礎イタリア語Ⅲ	1					
		16508004	※※※	基礎イタリア語Ⅳ	1					

17-16年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

科目区分	配当年次	登録コード 科目コード	クラスコード	科目名－クラス	サブタイトル	単位	教育 プログラム 構成科目	担当者	校地	期間 時間	備 考
------	------	----------------	--------	---------	--------	----	---------------------	-----	----	----------	-----

保健体育科目	1～	16601114	001	スポーツ・健康の科学A-1 コンディショニングと健康増進のための運動生理学・トレーニング科学	2		高木 俊	田	春2	スポーツ健康の科学A-1・51・52・53・71・72 先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。				
			002	スポーツ・健康の科学A-2 「健康」から「運動」「体力」を再考する			森 隆彰							
			021	スポーツ・健康の科学A-21 健康のための心理学・行動科学			田中 芳幸		秋2					
			022	スポーツ・健康の科学A-22 スポーツ現場につながる科学的理解			田城 翼							
			023	スポーツ・健康の科学A-23 「健康」から「運動」「体力」を再考する			森 隆彰							
			024	”スポーツ・健康の科学A-24 運動は無料の万能薬！？～運動が健康寿命・減量に及ぼす影響～”			谷村 陸							
			051	スポーツ・健康の科学A-51 スポーツと健康のための身体科学			山口 慶一	今	春2					
			052	スポーツ・健康の科学A-52 生涯健康のための科学			横山 慶一							
			053	スポーツ・健康の科学A-53 生涯健康のための科学			横山 慶一		秋2					
			071	スポーツ・健康の科学A-71 スポーツと健康のための身体科学			山口 慶一							
			072	スポーツ・健康の科学A-72 スポーツと健康のための身体科学			山口 慶一							
		16601115	001	スポーツ・健康の科学B-1 トレーニング科学	2		笠井 信一	田	春2					
			021	スポーツ・健康の科学B-21 スポーツトレーニングの科学			新井 彩		秋2					
			022	スポーツ・健康の科学B-22 ヒトの「筋肉」を考える			高橋 克毅							
			023	スポーツ・健康の科学B-23 運動制御とパフォーマンスの科学			北村 将也	今	春2					
			051	スポーツ・健康の科学B-51 スポーツ科学の入門			港野 恵美							
			052	スポーツ・健康の科学B-52 スポーツ科学の入門			港野 恵美		秋2					
			053	スポーツ・健康の科学B-53 スポーツ科学の入門			港野 恵美							
			071	スポーツ・健康の科学B-71 健康づくり運動の理論と実際			塩津 陽子							
			072	スポーツ・健康の科学B-72 健康づくり運動の理論と実際			塩津 陽子							
			073	スポーツ・健康の科学B-73 スポーツ科学の入門			港野 恵美							
			074	スポーツ・健康の科学B-74 スポーツ科学の入門			港野 恵美							
			075	スポーツ・健康の科学B-75 スポーツ科学の入門			港野 恵美							
			16601116	021			スポーツ・健康の科学C-21 スポーツ・教育の歴史と文化	2			北島 順子	田	秋2	※注1 スポーツ・パフォーマンスⅠ 先行登録科目である。クラス、種目、曜日講時、担当者等は『登録要領』を参照。
			16601018	※※※			スポーツ・パフォーマンスⅠ	1			※注Ⅰ			

全学共通教養教育カリキュラム・ポリシー

- 同志社大学の建学の精神である「良心教育」をさらに発展させることを目的として、「キリスト教主義」、「自由主義（自治自立の精神）」、「国際主義」という3つの教育理念に基づき、良心を手腕に知識・能力を運用し、社会に貢献する人物を育成するために、全学共通教養教育科目として「同志社科目」「キャリア形成支援科目」「プロジェクト科目」「国際教養科目」「外国語教育科目」「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然・人間科学系科目」「先端・複合領域科目」「保健体育科目」の10科目区分を設置する。さらに、学生が体系的と順次性を自覚しながら、それぞれの教育内容を効果的に履修できるよう、「同志社科目群」「キャリア形成支援科目群」「国際教養科目群」を設ける。卒業要件における履修単位数あるいは必修科目等については、各学部のカリキュラム・ポリシーに従って別途定められる。
- 「良心と進取の気性に溢れ、グローバル化する世界で新たな価値を創造できる人物」を養成することを目的として、「グローバル・リベラルアーツ副専攻」を設置する。「グローバル・リベラルアーツ副専攻」では、少人数クラス編成により、留学生とともに英語で学ぶ対話型授業を前提とした科目を中心とする「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」と、キリスト教について理解を深める科目など全学共通教養教育科目を幅広く履修する。また、別に定めるいずれかの試験を本学入学以降に受験し、TOEFL iBT[®]テスト79相当以上のスコアを得ることを求める。
- 文理を問わず、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を身に付け、各自の専門分野での学修や社会生活においてこれらを道具として活用し、新たな価値を創造できる人物の養成を目的として、「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」を設置する。
「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」においては、「データを読む、説明する、扱う」といった基本スキルを身に付けるとともに、社会の変化、社会におけるデータ・AIの活用領域と利活用例、利活用におけるさまざまな留意事項を理解できるように、プログラムが構成されている。
「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」においては、リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学ぶことで、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につながる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得できるように、プログラムが構成されている。
- 「同志社科目」は、長い歴史と豊かな伝統を有する本学に関する総合的理解を基礎としながら、キリスト教的倫理観・人間観・価値体系への理解を深めることを到達目標とし、講義に行事参加などを随時組み合わせた科目によって構成されている。
- 「同志社科目群」は、「同志社科目」と「宗教学(1)」「宗教学(2)」で構成され、建学の精神である「良心教育」の基礎を学ぶ「基礎科目」と、「キリスト教主義」に対する理解を深める「展開科目」に分類される。
- 「キャリア形成支援科目」は、社会的自立及び職業的自立に向け、社会に貢献する意識を育むことを到達目標とし、産業界など広く社会からゲスト・スピーカーを迎えて行う講義、あるいは国内・海外のインターンシップを実施する科目によって構成されている。
- 「プロジェクト科目」は、多様なテーマと講師を幅広く公募することで、社会の教育力を大学教育に導入した社会連携型のPBL (Project-based Learning) であり、社会的自立を実現するために不可欠な主体性を涵養し、プロジェクト活動とおして、目まぐるしく変化する状況に対応して適切に課題を設定し、解決できる思考力、洞察力、対話力、実行力等を身に付けることを到達目標とする。
- 「キャリア形成支援科目群」は、「キャリア形成支援科目」と「プロジェクト科目」で構成され、キャリア形成の基本的事項を学び、大学での主体的な学修意識を涵養する「基礎科目」と、キャリア形成について実践的に学ぶ「展開科目」に分類される。
- 「国際教養科目」は、「国際主義」の具体的実現を目指して、自国文化と異文化を相対化して理解する姿勢を身に付けることを到達目標とし、講義形式の科目、あるいは少人数クラス編成で受入留学生とともに学ぶことを前提とした演習形式の科目、海外フィールドワーク科目によって構成されている。多数の科目を外国語で行う。
- 「外国語教育科目」は、「国際主義」の具体的実現を目指して、グローバル社会で求められる外国語運用能力を身に付け、外国の文化・社会の特質と多様性について理解することを到達目標とする。「外国語教育科目」は、大学入学までに基礎を学修してきた英語の中級レベルから上級レベルまでの科目と、大学入学後に初めて学修する初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語)の初級レベルから上級レベルまでの科目から編成されており、英語と初修外国語それぞれの教育課程の体系的性と順次性に留意して設置された科目を、学生は個々の関心と習熟度に合わせて履修する。

＊英語では、1・2年次でリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4技能をバランスよく身に付けることを目的とした科目を履修し、2年次ではこれに加え、英語圏の文化・思想・社会などを深く理解することを目的とした科目を履修する。

高い英語習熟度を有する者は、1年次から4年次にかけて、より高度な英語運用能力を養成し、留学や大学院進学に必要な力を身に付けることを目的とした科目、実務英語の習得を目的とした科目、あるいは文献読解能力の向上を目的とした科目を履修することができる。

＊初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語）では、1年次で外国語の基礎を身に付けることを目的とした科目を履修し、2年次では4技能についてバランスの取れた運用能力の向上をはかるとともに、言語の背景にある文化事象に関心を広げることを目的とした科目を履修する。

留学や研究における使用に備えるなど、学生の関心や目標に応じ、1年次から4年次にかけて、実践的な外国語運用能力を向上させると同時に、文化的理解を深めることを目的とした科目、あるいは会話表現の習得を目的とする科目を履修することができる。

＊英語、初修外国語ともに、海外提携校での集中的な語学研修に主体的に参加することをとおして、グローバル社会で求められる外国語運用能力を身に付けるとともに、外国の文化・社会の特質と多様性への理解を体験的に深めることを目的とした海外語学研修プログラム科目を履修することができる。

＊なお、兼修外国語として、上記の初修外国語とは別に、イタリア語の初級レベルから中級レベルまでを学ぶ科目を履修することができる。

■「国際教養科目群」は、「国際教養科目」と「外国語教育科目」で構成され、「基礎科目」「展開科目」「留学関連科目」「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」に分類される。「基礎科目」は異文化に関する基本を学ぶ「国際教養科目」と、海外語学研修プログラム科目以外の「外国語教育科目」、「展開科目」は異文化に関して深く学ぶ「国際教養科目」、「留学関連科目」は受入留学生とともに学ぶ「国際教養科目」と海外語学研修プログラム科目により構成される。「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」は、人文科学、社会科学、自然科学にわたる幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目で構成され、英語で授業を行う。少人数クラス編成により留学生とともに学ぶことを前提とする科目は、グループワーク、ディスカッション中心の対話型授業を行うことで、柔軟な思考力と、多様な文化的背景や価値観を持つ人々と協働する力を身に付けることを目的とする。海外フィールドワーク科目は、海外研修をとおして、グローバル社会が直面する課題への理解を深めることを目的とする。

■「人文科学系科目」は、「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指し、講義をとおして、人文科学系学問の思考と方法論を学ぶことにより、批判的・科学的思考力をもって、自ら問題を発見、解決できる力を身に付けることを到達目標とする。

■「社会科学系科目」は、「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指し、講義をとおして、社会科学系学問の思考と方法論を学ぶことにより、批判的・科学的思考力をもって、自ら問題を発見、解決できる力を身に付けることを到達目標とする。

■「自然・人間科学系科目」は、「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指し、講義をとおして、自然・人間科学系学問の思考と方法論を学ぶことにより、批判的・科学的思考力をもって、自ら問題を発見、解決できる力を身に付けることを到達目標とする。

■「先端・複合領域科目」のうち「先端領域科目」は、講義をとおして、現代の科学技術及び人文社会分野の最先端に行く研究の知識を獲得し、方法論を学ぶことによって、先進性を追及する学問的態度と独創性を重んじる知的指向性を育成することを到達目標とする。「複合領域科目」は、講義をとおして、既成の学問を超えて現代社会の課題を発見し、その解決策を主体的に考えることによって、学際的視野と創造的な知的指向性を育成することを到達目標とする。

■「保健体育科目」は、実習及び講義をとおして、スポーツと健康に関して体験的かつ科学的に理解することの重要性を学ぶことによって、知・徳・体すべてにわたる豊かな人間性を涵養することを到達目標とする。

発行

同志社大学 全学共通教養教育センター
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL 075-251-3325

URL <https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/>

同志社大学 京田辺校地教務課
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

TEL 0774-65-7053

2026年4月1日